ライオン誌5月号 2005年（平成17年）4月20日発行
昭和33年12月19日付第3種郵便物認可
毎月1回20日発行第47巻第11号

IN JAPAN
Official publication
of Lions Clubs
International

May 2005

5

THEME スペシャルオリンピックス

PICK UP 女性会員

ROAR 336複合地区

第47巻第11号

We Serve

CONTENT

表紙メモ

日本の風景
鳥取県倉吉
町並

写真：編集部

デザイン:内田誠治

INTERNATIONAL PRESIDENT'S MESSAGE

国際会長メッセージ

2004-05年度国際会長
クレメント・F・クジアク
Clement F. Kusiak

Share Success THROUGH SERVICE

奉仕を通して成功を分かち合おう

クラブと会員の増強に向けて目標を明確に

Club and Membership Growth: Are We On Target?

国際協会が自らの基礎を強化し、奉仕活動を拡大し続けるためには、クラブと会員の増強が不可欠です。本年度私は、そのことの決定的な重要性を繰り返し強調してきました。会員の数が増えれば、さまざまな成果を分かち合う私たちの能力も高まるでしょう。クラブと会員の増強は、「奉仕を通して成功を分かち合おう」というテーマの確実な実現につながるはずです。

例えば私は、年度内にクラブと会員の純増を果たすという目標を掲げています。この目標を達成するには、多くの新会員を獲得すると同時に、新たなクラブを結成させる必要があります。また、会員を獲得する一方で退会させてしまっては意味がありません。したがって、会員維持の効果的な方法を模索することも大切です。この三方面からのアプローチが成功すれば、会員純増は確実に達成されることになるでしょう。

正確なところ、本年度の目標はどこまで達成されているのでしょうか？ 今年一月末の集計によれば、世界の会員数は現在百三十四万七千二百十四人、クラブ数は新たに結成された三百八十四クラブを加えて、四万六千二十クラブとなっています。

また二〇〇四年七月一日以降、世界中で一万四千五百八十二人の女性がライオンズクラブに加わりました。このことは、特に目覚ましい成果であると言えるでしょう。ライオンズクラブへの入会は、女性に地域社会への関心と指導力を発揮する機会を与えます。私たちは更に多くの女性を招き入れ、世界最大の奉仕クラブ組織の成功を分かち合わなければなりません。

その他の分野でも、国際協会の強化は進んでいます。会員数を増加させる方法としては、通常のライオンズクラブに加えて三つの魅力的な選択肢があります。ライオンズクラブに加わりたい、あるいは留まりたいと望みながら、職場や住まいなどの個人的な理由から、それが難しい場合もあるでしょう。このような人々のために、現在では五百五十六のクラブ支部が存在します。若い世代に

奉仕の精神を広める新世紀ライオンズクラブの評判も高まりつつあり、その数は二百八十五クラブに達しています。更に、大学の学生、教職員、管理者を対象とする二百八十三の学内クラブは、学内という特定のコミュニティーの中でライオンズクラブを結成し、活動する機会を与えています。

地域社会の要請と関心が世界中で高まりつつある現在、国際協会はこれまで以上に成長と拡大の必要に迫られています。ライオンズの会員は、隣人、地域社会、世界中の人々の生活を改善するため、広範かつ継続的な奉仕活動に取り組んでいます。

しかし、こうした活動を維持していくにはクラブと会員の更なる増強が不可欠であり、すべての会員が明確な目標に基づき国際協会の強化を推進しなければなりません。報告によれば、一月末までに既存のクラブには七万四千八百四十二人の意欲的な新会員が加わりました。つまり、新たにこれだけの人々が地域社会と世界の改善に手を貸してくれるということであり、この事実をご報告出来ることをたいへん喜ばしく思います。今後も新会員のスポンサーとなることで、皆さんの一人ひとりが会員増強の成功を分かち合ってほしいものです。

あらゆる会員には、意欲に満ちた献身的な男女を入会させる義務があります。国際協会が世界最大の、最も活動的な奉仕クラブ組織としての名声を維持出来るよう、自らの熱意を他者と分かち合おうではありませんか。

2月に日本を公式訪問されたクジアク国際会長夫妻は、17日に小泉純一郎首相を、18日に常陸宮正仁親王ご夫妻を表敬訪問した

Special Olympics World Winter Games Nagano Japan

がんばる勇気を与える
スペシャルオリンピックス

「わたくしたちは、精いっぱい力を出して勝利をめざします。たとえ勝てなくても、がんばる勇気を与えてください」

これはスペシャルオリンピックス(SO)日本が、国内大会の折に行う宣誓だが、二月二十六日から三月五日まで長野県で開催された冬季世界大会＝SONAの開会式でも、日本選手団の新垣里奈さんが、この言葉を使って宣誓した。

SOでは選手全員が決勝へ進む。予選は、決勝で競技をするグループ分けのために行われる。選手全員に勝つチャンスを与えるためだ。勝つチャンスがあれば、がんばろうとする気持ちも大きくなる。勝つことももちろん大事だが、選手が、自分の持っている力すべてを出し切ることに大きな比重を置いているのだ。

今大会でも、各国の選手たちは一生懸命競技に取り組み、家族や観客、ボランティア、そしてマスメディアに大きな感動と勇気を与えた。

日本における知的障害者の環境は決していいとは言えない。本誌二〇〇四年七月号特集「ノーマライゼーション」で、知的障害者を支えるライオンズの取り組みを取材した。その時、知的障害者雇用に積極的に取り組むある会員が、「日本の社会は合理性を求めるあまり、障害者を一律に見る傾向にあり、その多様性に気付いていない」と語っていた。すべての人に可能性があるのだ、と。

ホストタウン・プログラムで着物を体験

残念ながら、SONAに関するマスコミ報道はあまり活発ではなかったし、各会場の一般観客もさほど多くはなかった。が、これまで、ほとんど知られていなかったSOが、ようやく認知され始めたのは確かである。また実際に観戦したり、ボランティアで触れ合った多くの人は、知的発達障害を持つ人々の多様性に気付いたはずだ。

この大会をきっかけに、その輪が広がり、それぞれの可能性を引き出す社会に変わっていきたいものだ。

アスリートの健康増進を目指す
ヘルシー・アスリート・プログラム

この大会ではまた、競技会場以外でも、交流広場のSOタウンやヘルシー・アスリート・プログラム(HAP)などのノンスポーツ・プログラムが多彩に繰り広げられた。アスリートの健康増進を目的としたHAPは大会期間中、長野市のもんぜんぷら座で開催された。

障害により見落とされがちな目、耳、歯などの健康診断を実施するもので、今大会ではオープニングアイズ(視覚)、ヘルシーヒアリング(聴覚)、スペシャルスマイル(歯)、フィットフィート(足・足首)、ファンフィットネス(柔軟性・筋力)、ヘルスプロモーション(生活習慣・栄養)の六つのプログラムが用意された。

このうちオープニングアイズは二〇〇一年七月から三年間の予定でLCIF四大交付金事業に指定され、更に二〇〇四年秋の国際理事会において、これまでの高い実績が評価され一年半の延長が決定。総額五百三十万ドルに及ぶ事業となっている。またライオンズ以外からのサポートも多く、レンズはフランスのエシロール社(日本の場合はニコン・エシロール社)、フレームはイタリアのサフィーロ社から提供され、検診の結果、必要と認められた選手に眼鏡が無料で贈られる。

日本ライオンズは公式スポンサーとして大会を支援

二〇〇二年から始まった日本でのオープニングアイズ・プログラム

とはいえ、日本ではSO自体が、知られていなかったせいもあり、オープニングアイズの歴史は浅い。二〇〇二年、SO日本として初めての夏季国内大会が東京で開催された際に、オープニングアイズ・プログラムも日本初上陸を果たした。

その前年、アメリカ・アラスカ州で、SO冬季世界大会が開催された時、ワシントンにあるHAP本部から愛知県名古屋市にあるキクチ眼鏡専門学校に、オープニングアイズ・プログラムの研修生派遣要請が届いた。同校が、日本で唯一の世界検眼連盟(WCO)認定校であることが理由だったようだ。

オープニングアイズを始めHAPではプログラムを広めるために、夏季及び冬季世界大会の折にトレーナー・トレーニングを実施。開催国以外の国々から眼科医や眼鏡士が参加し、自国でのプログラム導入のため、研修を受ける。日本には現在、三人のオープニングアイズ・ディレクターがいるが、そのうち二人はアラスカの冬季大会、一人は二〇〇三年にアイルランド・ダブリンで開催された夏季大会で研修を受けた。

二〇〇二年の夏季国内大会では、まだ手探り状態だったこともあり、オープニングアイズ・ディレクターとライオンズクラブとの協力は確立されなかった。その後、二〇〇四年に長野で開催された冬季国内大会で初めて、ライオンズ側にも声が掛かり、会員たちがボランティアで検眼のサポートなどを行った。

幸いだったのは、当時の長野県眼科医会会長が、野中杏一郎334-E地区副地区ガバナー(現ガバナー/複合地区ガバナー協議会議長連絡会議世話人)であったこと。これでライオンズと眼科医会との連携が、非常にスムーズにいった。

三月二日時点でのSONAの中間報告によると、オープニングアイズでは五百二十三人の選手が検査を受け、二百三十人に何らかの処置が必要と認められた。プログラムの重要性が再確認されたかっこうだ。

来年は熊本で、夏季国内大会が開催される。昨年、今年と二年をかけて築かれたノウハウが、長野から熊本へうまく引き継がれ、ライオンズ側でも十分なサポートが継続されることが期待される。

2月26日に長野市のエムウェーブで行われた開会式で、アメリカ選手団と共に入場するクレメント・クジアク国際会長夫妻

●オープニングアイズ・プログラムでは問診、近方視力、立体視、色覚、遠方視力、カバー(斜視)、屈折、眼圧、スリットランプ、眼底の各検査が実施される。検査項目としてはかなり多いが、すべての検査を実施しないと、LCIF四大交付金から出ている「ライオンズ・ファンド」の助成を受けることが出来ない。検査には地元ライオンズクラブの会員や眼科医、眼鏡士などがボランティアで携わり、世界大会の場合はトレーナー・トレーニング・プログラムによる研修のため、諸外国からの眼科医や眼鏡士も加わる（上の組写真）

●二月二十八日、長野市のサンパルテ山王で行われたヘルシー・アスリート・プログラム・レセプションの席上、クジアク国際会長からスペシャルオリンピックス国際本部のティモシー・P・シュライバー会長兼CEOに、LCIF四大交付金三百八十五万二十九ドルの小切手をかたどった大型の証書が手渡された（写真左）

■国際理事
大久保　彦
（長崎東）

相次ぐ天変地異
ライオンズの真価が発揮される

二〇〇五年三月二十日、東京で起きた地下鉄サリン事件からちょうど十年となるこの日に、兵庫県・姫路ライオンズ（クラブ）五十周年記念式典が行われたので、出席致しました。

姫路に着くと周りから、「九州はたいへんでしたね」と労われ、何のことか分からずにいたら、九州北部に百年の眠りから覚めたように突如地震が発生したことを教えられ驚きました。福岡沖玄海地震と名付けられたこの地震は、福岡市などで震度六弱という強い揺れを記録しました。ビルの窓ガラスが割れて雨のように降る映像を見て、都市における地震被害と事前の防御策について、改めて考えさせられました。

今年は会議や行事で各所を訪れるたびに、日本や世界のどこかで天変地異が起きており、集った人々と共に心を痛め、また一日も早い復興を祈りました。この国際理事だよりでも度々それらの話題を取り上げております。昨年夏の台風禍、十月の新潟地震、年末に起きたスマトラ沖地震による津波など、度重なる支援要請があり、メンバー各位にも大きな負担であったことと推察致します。ただ、被災された方々のご苦労を思えば、ほんの小さな助けにでもなれるのなら、支援出来ることを喜びととらえるべきかもしれません。

この原稿を書いている今も、九州は朝からの豪雨。地震でゆるんだ地盤に追い打ちをかけるように降って参ります。家が壊れた人々の困難もたいへんなものとしみじみ思っています。

「恐れの中に恐るべかりけるはただ地震なりけり」と、鴨長明は『方丈記』の中で地震の恐ろしさを強調している、と地元の新聞に書かれていました。更に、「羽なければ空を飛ぶべからず竜ならばや雲にも乗らむ」とあり、一一八五年に記されたこの言葉が、もし今日もそのまま通用するのであれば、「羽があれば空を飛んで竜になれたら雲に乗って逃げ出したい」と揺れる大地で考えた往時、人々の恐怖ともどかしさが読み取れる、とその新聞は結んであります。人間の英知もいまだ昔と一緒だと思いながら読みました。

ライオンズクラブ国際協会も今年はいろいろな改革や機構の編成に時代のニーズに合うべく努力しています。会員増強に力を入れて、ＩＯＧＩ（国際役員会員増強運動）を立ち上げたり、次年度から本格スタートとなる、キャンペーン視力ファーストの地盤を固めたり、精力的に前進を続けております。こうした努力も、大自然の猛威を目の当たりにすると、時に空しいものと感じることもあります。しかし、地域社会、世界の情勢が苦境に陥った時にこそ、ライオンズの真価が発揮されるのです。『ライオン誌』や公式ウェブサイトで紹介されている日本や世界のライオンズの、被災地における活躍をご覧ください。私たちはこのような時こそ友愛と英知を出し惜しみすることなく懸命に努力すべきだと実感されるに違いありません。

三月二十八日から四月七日までアメリカ・ワシントンＤＣで国際理事会が開催されます。この「国際理事だより」が掲載されるのは五月号ですが、社会でも学校でも五月病という奇妙な病気がはやる季節でもあります。しかし、私たちライオンズにはこのような季節病を患っている暇はありません。毎年繰り返される四季の中で、常にライオンズの仲間として未来に続く奉仕を真剣に考えていきましょう。

私がこのたよりを通じてメンバー各位にお目にかかることが出来るのは、七月号の一回を残すのみとなりました。またお会いしましょう。

pick up
ピックアップ

女性委員長と考える。女性会員の増強を図るには、意識の変革そしてエクステンション

今年度は日本初の女性地区ガバナーも誕生し、女性会員の一層の活躍が期待されている。しかし本誌が行った集計によると、日本の会員に占める女性の割合は五・六パーセント（〇四年十二月末集計／17ページ参照）と、一三パーセントを超える世界の水準にいまだ遠く及ばない。そこで、各地区で女性の会員増強、参加推進に取り組む女性委員長三人に各地区の取り組みを伺い、増強の方策について話し合った。

違いを認め合い、受け入れることが基本

中田　本日は各地区で女性の会員増強、参加推進に尽力しておられる三人の女性委員長にお集まり頂きました。まず、皆さんの地区の女性会員の状況について教えてください。

福嶋　330・C地区は初の女性地区ガバナーが誕生したことで、女性会員がたいへん熱心に参加してくださいます。今年度はクラブにアンケートを行いましたところ、女性の平均年齢が六十一歳と高くなっております。若い会員を増強し活性化していきたいと話しているところです。

植村　現在333・C地区には四つの女性クラブがありますが、近く二クラブ結成出来そうな状況です。男女混合クラブも大分増えてきていますが、全体の半数ぐらいは、女性の入会を認めていないクラブがあります。女性会員を増やそうと言いながら、いざとなると「妻は家にいるものだ」という考えの方がまだいらっしゃいますね。それを徐々に変えていく方向に進んでいきたいと考えています。

野澤　女性を招請して一緒に活動した方がよいという理解を、既存クラブの会員にまず求めたいです。特に指導的な立場の方々に発想を変えて頂く必要があります。能力のある女性をお誘いしても、力を発揮して頂くことがまだ難しい状況です。同時に、クラブに初めて女性を招請す

る場合は、核になるような、後に続く方の見本となるような人選をしたいですね。すぐに退会されるようなことになると「やはり女性は……」ということになりかねない。

植村　男性社会はタテ社会で、建前というのがある。女性は割と本音でものを言いますから、そこのギャップがあると思います。そうした男性社会に入っていくには、自分の置かれた状況を変える勇気と、受け入れる平静さを持つことだと思います。対抗するのではなくて対話をしながら、違いを認め合い、受け入れることがいちばんの基本になるという気がします。

【出席者】
福嶋聖子（埼玉県・浦和すみれ）
330-C地区女性参加推進・ライオネス委員長
植村力子（千葉県・柏なの花）
333-C地区女性会員増強及び参加委員長
野澤操子（沖縄リバティ）
337-D地区会員・会則・指導力開発・女性参加推進委員長
【司会】
中田勝昭（大阪府・大東）
ライオン誌日本語版委員／元335-B地区ガバナー

福嶋聖子委員長

福嶋　当地区では三四パーセントのクラブが男女混合クラブです。アンケートでは、男性クラブのうち、これから男女混合クラブにしたいというクラブは二十七、現状のままでいいというクラブは二十二で、無回答が三十八ありました。

野澤　若い人たちには男女で区別する意識はないですよ。ですから若い世代を中心に結成されたクラブは男女混合クラブが多いです。古いクラブほど女性の入会率が低いですね。私の場合は男性クラブに一人で入会して、最初は話し相手もいないような状況でした。そのおかげで強くなれたと、感謝していますが。お二人は女性クラブということで環境が違いますけれども、私は男性と女性がそれぞれ力を発揮し合える混合クラブを作った方が、将来的にはいいと思っています。

植村　女性クラブの場合でも、合同でアクティビティで男性クラブに手伝って頂いて、一緒に活動することが出来ますね。男性が気づかなかったアクティビティというのもありますから、いい刺激剤になります。

女性招請に地区、クラブの取り組み

中田　女性ガバナーが誕生した330-C地区では、女性会員の増強にどのような取り組みをなさっていますか。

福嶋　まず始めに、現状の把握と今後の施策をいかに進めるべきか、全クラブ対象のアンケートを行いました。それから今年一月には女性会員の「新春の集い」として「女性会員の親交と会員増強」をコンセプトに、コミュニケーション・フォーラムを開催しました。ライオンズの一員として情報を共有することが重要で、情報交換のよい機会になりました。

野澤　今後は各地区で、ディスカッション形式のセミナーなり、フォーラムなりを年間行事に組み込んで頂きたいですね。

中田　私の所属する335-B地区では、一九九八年度に山崎勝己地区ガバナーが九つの女性クラブを結成されました。それから二年たって私が地区ガバナーの時、女性クラブがさまざまな悩みを抱えているということで、悩みの相談会をしようと集まってもらいました。人間関係や周囲のクラブとの付き合いなどいろいろな悩みがありました。その後も「女性の集い」として第一回、第二回が開催されています。

福嶋　ただ会員増強ということで考えると、ライオンズの中のセミナーだけでは会員は増えにくいと思います。地域社会に開かれたものにした方が良いでしょう。

野澤　国際本部から女性シンポジウムのガイドが届きまして、女性の入会を推進する導入部分を考える良い資料になります。ライオンズのPRという点でも参考になりました。

植村　私もその資料を頂きまして、来期にはシンポジウムを開催したいと計画を練っているんです。先日、330複合地区で環境をテーマに女性フォーラムが開かれるということで、勉強のために参加いたしました。ガイドによると、地域の女性が興味を寄せるテーマでシンポジウムを開

いて、女性会員の招請と、新しい奉仕分野の開拓をしようということですから、どんなテーマがいいか考えているところです。

新会員招請とスポンサーの役割

福嶋　先ほどお話しした新春の集いには大勢の女性会員が集まってくださいましたが、自分のクラブだけでなく、広く他クラブのことを知る機会は貴重だと思います。

植村　ライオンズに入ってよかった、と思えることがいちばん大事です。本質が分かった時に初めて満足感が得られる。こんな方たちが、こんな素晴らしい活動をしていると、そういう出会いがライオンズの魅力です。そうなると、くだらないもめ事はどうでもいいことだと気づくんです。新会員には入会する前に例会でもアクティビティでもよく見てもらって、ライオンズについてよく理解してもらいたいです。

野澤　入会時の心得ですね。そして入会に至るプロセスの中では、スポンサーの役割が大きい。その後の育成のこともありますから。

植村　会合の時には電話でお誘いして一緒に行くとか。そういう心遣いが必要ですね。

中田　やはりスポンサー次第です。入会から一年間はスポンサーが責任を持って面倒を見る。保証人みたいなものですよ。

植村　333・C地区の新しい取り組みとしては、ライオネスクラブの会員の皆さんを賛助会員としてライオンズに迎えようということがあります。ライオネスのままライオンズに移行するのは難しい場合がありますが、賛助会員でしたら、出られる時に出席して活動して頂けることになります。

野澤　ライオンズのことはもう勉強されているわけですからね。理解度も高く、スムーズに移行出来ると思いますよ。

野澤操子委員長

中田　そのほかにクラブ・レベルでの会員増強の取り組みは何かありますか。

植村　退会された方にもう一度声をかける運動をやっています。病気になられたり、ご家族の介護をなさったりと、ある時期に事情があって退会された方に、それが一段落されたらどうぞと。実際に再入会してくださった方もあります。それから、どうしても辞めざるを得ない人は、新しい方を紹介するようにしようと。これはなかなかうまくいきませんが、そういう心構えで会員を減らさない努力をしています。

女性が参加しやすいクラブのあり方

中田　335・B地区には女性クラブが二十一ありまして、本誌の統計では全国で唯一、女性会員が一〇パーセントを超えております。現在は各ゾーンに女性クラブを一つ作ろうと取り組んでいます。仮に一つのゾーンに五クラブあって各クラブが五人の会員候補を紹介してくれたら、クラブが結成出来るんですね。やる気を持って、力を合わせれば出来ます。私の所属するゾーンでも女性クラブを作ってまして、近く結成会を開きます。

植村　どういった方たちが会員候補に挙がっていますか。

中田　職業を持たれた方が多いですね。しかし主婦の方もいらっしゃいます。

野澤　私の地区ではいまだに主婦の入会に消極的です。「ライオンズは職業を持っていなければ」という方が、古くからのメンバーの中にいらっしゃる。「ライオンズの質」ということを、職業で判断されているようです。これまでお話を伺っていて、他の地区に比べてちょっと遅れているなという気がしますね。

中田　問題は職業ではなく、人間としての質ですよ。

福嶋　浦和すみれライオンズクラブは主婦を対象としてスタートしました。例会出席率はほぼ百パーセントで、アイバンク支援を中心に、チャリティー・コンサートの開催など活発に活動しています。

植村　それぞれのクラブのスタイルがあっていいですよ。

中田　我々の地区で最初に結成された女性クラブの大阪カトレア・ライオンズクラブは主婦の方を中心に、コーラス・グループや地域で社会活動をされている方たちで結成されています。

福嶋　既存の団体にアプローチし

ていくことは有効だと考えています。実際に商工会議所の婦人部と接点を持って研究しているクラブもあります。

植村　私の地区で今エクステンションしようとしているのは、着付け教室のメンバーですよ。

中田　そうしたグループでもいいわけですね。団結力もあるでしょうし。私がガバナーを務めた二〇〇一年の地区年次大会では、女性メンバーに総合司会をお願いし、先ほどお話しした大阪カトレア・ライオンズクラブのメンバーが所属するコーラス・グループと、大阪ヴァイオレット・ライオンズクラブのメンバーによるピアノと歌で会を盛り上げて頂きました。女性メンバーには多彩な才能の持ち主が大勢おられますよ。

中田勝昭委員

新たな枠組みを作るエクステンション

植村　333・C地区はリジョン・チェアパーソンも加わったMERL委員会を毎月一回開催しています。例えば、女性クラブが出来そうだという話があると、委員会全体が連携して動く態勢をとっています。既存クラブに女性が入会するとなると、会費や時間などの面でなかなか難しいんですね。我々の地区では月五千円、年会費六万円で運営しているクラブがずいぶん出来ています。従来の枠の中に入るのではなく、自分たちで枠を作った方が、女性は入りやすいですね。そういう意味で女性クラブの結成は、女性会員増強に有効だと思います。ですから今はエクステンションに力を入れています。

中田　会費を安くした場合、ゾーンやリジョン内での会合などにかかる費用はどうされていますか。

植村　地区ガバナー公式訪問にしても、全体に費用を下げる傾向にあります。私たちのリジョンでいい傾向だと思うのは、合同例会や合同アクティビティを通じて、お互いのクラブの特性をよく理解し合っていることです。女性クラブを訪問したことがきっかけになって、既存クラブでも会費を下げたりと合理化が進んでいるようです。

植村力子委員長

福嶋　私たちの地区の女性クラブの場合、年会費が安いクラブで六万円、高いクラブでは十四万円です。やはり月五千円から一万円というところでしょうか。

野澤　新クラブ結成に携わっていて、現在の環境に合わせて考えると月五千円ぐらいが下限だと思います。だいたい三千六百円は国際会費や地区費などの納付にかかりますから。その代わり食事代は会員の自己負担にしていますね。中にはサンドイッチとか、コーヒーだけでいいという方もいらっしゃいますし、皆さんおいしいものは、ほかでたくさん食べてますから。

植村　月五千円で運営するとなると、そうなりますね。食事代はその都度集めるとか、会場費がかからない場所を借りるとか、いろんな方法があると思います。

中田　女性クラブでは例会時間に工夫しているところもありますね。食事の時間帯を外してお茶の時間にするとか。

福嶋　私のところも第一例会は午後のティータイム、第二例会は夕食を挟んで楽しんでいます。そうした例会のあり方にしてもアクティビティでも、『ライオン誌』を読むと、新しい情報が次々入ってたいへん参考になりますね。

野澤　私のクラブでは例会で勉強会をしていますよ。交替で声に出して読んでもらうんです。

福嶋　ぜひそういう学習の場を各クラブで持ってほしいものです。

中田　ありがとうございます。公式の機関誌ですから、どんどん活用して頂きたいですね。皆さんのお話を伺って、女性会員の増強にはエクステンションが効果的だと思いました。新クラブ結成にリーダーが強い意欲を持てば、皆が必ずついて行きます。女性委員長として皆さんのますますのご活躍を期待しています。

桜の開花宣言と共に各地区年次大会始まる

四月三日、全国三十二準地区のトップを切って337-C地区（長崎県、佐賀県／馬場馨地区ガバナー）の第五十一回年次大会が、長崎市の長崎ブリックホールで開催され、地区内八十二クラブから約七百五十人の会員が参加した。大会は金子原二郎長崎県知事、伊藤一長長崎市長の歓迎あいさつに続き、馬場ガバナーが年次報告。その後、代議員会審議事項及び選挙結果報告が行われ、地区ガバナー・エレクトにライオン北島建則（佐賀第一ライオンズクラブ）、次期副地区ガバナーにライオン山根由之（長崎県・佐世保グリーン・ライオンズクラブ）が選出された。各地区・各複合地区年次大会はこの後、六月五日の331複合地区（北海道函館市）と334複合地区（愛知県名古屋市）まで二カ月にわたり、週末を中心に毎週開催される。ピークとなるのは五月十四、十五日の土日で、両日で実に十二地区の大会が開かれる。

第四十三回OSEALフォーラム報告

昨年十二月にマニラで開催された東洋・東南アジア・ライオンズ・フォーラムの参加者数と決議内容の報告がホスト委員会から発表された。報告によると参加者は七千百八十五人で、日本は千八百九十四人だった。フォーラム決議は感謝決議を含め十三項目を採択。第四十四回を仙台、第四十五回をマレーシア・ペナンで開催することが確認され、二〇〇五～〇七年国際理事候補者として、ライオン伏見龍（岐阜県・美濃加茂）とライオン山田實紘（神奈川県・横浜みなとマリン）の推薦が決議された。

330複合地区環境再生シンポジウム開催

三月十四日、東京・丸の内の東京會舘において、「環境再生シンポジウム・桜が泣いている――女性会員フォーラム――」（330複合地区環境保全委員会・女性参加推進委員会主催）が開催された。冒頭に小池百合子環境大臣がスピーチし、先月発効した京都議定書に触れて地球温暖化防止への協力を呼び掛けた。シンポジウムは三部構成で、第一部では渡辺三男講師（東京城北ライオンズクラブ）が地球温暖化のメカニズムや深刻な影響について

解説。第二部では樹木医の浅田信行氏が桜の保護について講演。第三部では女優で農政ジャーナリストの浜美枝さんが全国の農村を歩いた経験を基に危機的状況にある日本の農村や農業について語り、美しい日本を取り戻すために一人ひとりが出来ることから始めてほしいと訴えた。環境問題には女性の関心が高いことから、今回の催しは女性会員フォーラムを兼ね、特に女性会員と女性の会員候補者が多数出席した。終了後はティータイムを設け、参加者は相互に交流を深めた。

333-C地区でライオンズスクール上級者養成講座開催

三月二十四日、千葉市市民会館で333-C地区(千葉県/林護地区ガバナー)のライオンズスクール上級者養成講座が開催された。次期のクラブ三役予定者とキャビネット構成員予定者ら約百六十人が参加。会員増強とリーダーシップに重点を置き、基調講演とパネル・ディスカッションが行われた。基調講演では講師の後藤隆一元地区ガバナーが、次世代を担う指導力育成の重要性を強調。また国際的レベルでの組織について説明した。パネル・ディスカッションでは、会員増強、例会、リーダーシップのテーマでパネラー五人がクラブの取り組みや意見を発表。年会費を抑えた運営手法、会員招請やリテンションのアイデアなど、クラブ運営の参考になる内容となった。

世界のライオンズ会員数トップ5

国際協会集計によると二〇〇四年十二月末現在、会員数の多い国トップ5は、アメリカ四一万六、八〇〇人(一万三、五二三クラブ)、インド一四万一、八九八人(五、〇九一クラブ)、日本一二万六、〇八三人(三、四一九クラブ)、韓国七万七、四四六人(一、八八四クラブ)、イタリア五万二四二人(一、二三三クラブ)。会員数上位十カ国で上半期純増となったのは、四位韓国(〇・五パーセント増)と六位ドイツ(〇・八パーセント増)、九位台湾(五・六パーセント増)。日本は〇・一パーセントの純減だった。

日本で最大のクラブは山梨県・南アルプス

ライオン誌日本語版事務所の調べによると、二〇〇四年十二月末現在、日本国内で会員数が最も多かったのは南アルプス・ライオンズクラブの一五八人だった。以下十位まで、静岡県・浜松一五四、群馬県・高崎一四〇、福岡県・田川一三〇、福岡県・飯塚一二四、長崎県・島原一一八、秋田県・大曲一一六、長崎県・諫早センチュリアン一一五、岐阜県・大垣東一一四、大阪府・茨木一一四。会員数が百人以上のクラブは全国で十六あった。

日本の女性会員の割合は全体の五・六パーセント

ライオン誌日本語版事務所に提出された二〇〇四年十二月の報告書を集計した結果、女性会員数は全体の五・六パーセントで、七、〇四九人(推定)だった。報告書未提出あるいは性別記入がなかった二七六クラブを除いて算出した女性会員の割合を、全会員数に当てはめて推定したもの。地区別では、335-B地区が一

▼18ページに続く

▼17ページから続く

○・六％と最高で、335－A地区（九・二）、336－A地区（八・九）と続く。最も割合が低かったのは、334－C地区で○・九％だった。

またクラブの男女構成では、男性だけのクラブが一、五五八、女性だけのクラブが八五、男女混成のクラブが一、四九八だった（未報告・無回答二七六）。集計結果は公式ウェブサイトに掲載（トップページ「日本のライオンズクラブ」→「資料」）。

第二回LCIFスタディ・ツアーのビデオ発売

第二回LCIFスタディ・ツアーを記録したビデオを、ライオン誌日本語版事務所が発売した。スタディ・ツアーは日本の会員を対象にLCIFが企画。今年二月、カンボジアで日本のクラブが建設した学校を視察した（本誌四月号「THEME」参照）。ビデオは、視察の模様と事業に携わった会員へのインタビューで構成されている。上映時間三十分、一本三千円（送料実費）。注文はライオン誌事務所まで。

LCIF Update

ある母親の話——障害を持つ息子に驚異的な進歩をもたらしたLCIFの支援

LCIFは2000年、アメリカ・ミシガン州（11-A1地区）のライオンズに対し、視覚障害児のためのペンリクトン・センター拡張のため一般援助交付金7万5,000ドルを交付した。ライオンズとLCIFへの支援がどれほど息子のために役立ったか、メアリー・ランドールが自らの言葉で語る

息子のニコラスは一九八五年に生まれました。妊娠中は順調で、問題が生じようとは思いもよりませんでした。ニックには生まれつき目が一つしかなく、それも正常な目の三分の一の大きさしかないことを知り、私たちは打ちのめされる思いでした。神経科医には最初の誕生日まで生きられないだろう、生きたとしても植物状態になるのは確実だと言われました。

それでも私たちは出来る限り世話をしました。生まれてから十六カ月間に九回の手術を受けさせました。二歳になるころには、脳性マヒと慢性ぜんそくの診断が下されました。座ることも出来ず、寝返りを打つのがせいぜいでした。

幸いだったのは、教育委員会から我が家に来てくださっていた先生が、視覚障害児のためのペンリクトン・センターを見に行くように熱心に勧めてくださったことです。夫のフレッドとそこを訪ねて、すべてが明るく快活なことに本当に驚きました。幸せそうに遊ぶ子どもたち、ニーズに細かく気を配るスタッフ。すぐにニックを週二回のデイケア・プログラムに参加させることを決めました。

ニックは成長するにつれ、多くのことを成し遂げました。座ること、歩くこと、自分で食事をし、服を着ること。すべて素晴らしいスタッフの指導によるものです。私には、ニックがそこではとても幸せなのが分かりました。

驚くべきことにセンターは州や連邦政府の資金援助を受けず、これだけのことを成し遂げています。個人やライオンズクラブなどの組織による民間の寄付だけで運営されているのです。

ニックは十三歳になった八八年に、ペンリクトンを卒業しました。今はハイスクールのバンドで、スネアドラムの首席奏者を務めています。昨年は、芸術で優れた成果を納めた子どもに贈られる「イエス・アイ・キャン」賞を頂きました。アメリカとカナダで合計二十七人しか頂けない賞なのです。

私たちはペンリクトンで受けた指導に、そしてLCIFの強力な支援に心から感謝しています。ニックがセンターに入るまで、私たちはライオンズについてあまり知りませんでした。その後、センターの存続にライオンズの支援がいかに重要か、知るようになりました。夫のフレッドはその活動に感銘を受けて自分も会員になりました。これまでに、クラブ会長やゾーン・チェアパーソン、リジョン・チェアパーソンを務め、とても積極的に活動しています。

SightFirst Update

有効な抗生物質を用いたトラコーマの撲滅

古代エジプトのファラオの時代から、細菌によって睫毛が内向きになり、角膜を傷付けることは、失明の最大の原因だった。今日でも途上国を中心に五十五カ国で、八千四百万人がトラコーマに感染し、七千六百万人が失明している。

トラコーマ病原体と呼ばれ、目の分泌物や手指、ハンカチ、あるいはハエによる接触で拡散する。感染を繰り返すと目蓋の裏側に傷跡が残り、やがて目蓋が内向きに曲がってくる。そのために睫毛が角膜を傷付け、失明に至る。女性や子どもが特に罹りやすい。

視力ファーストでは、一九九九年からトラコーマを標的としており、昨年視力ファースト交付金によって、エチオピアとスーダンで四十万人以上にこの病気を予防する処置が施された。ライオンズが実施しているさまざまな手段の一つに、トラコーマに効果のある抗生物質ジスロマック（アジスロマイシンの商品名）の配布がある。

最新の研究で、ジスロマックがこれまで考えられていた以上に有効であることが明らかになった。イギリスの研究者たちの調査結果によると、アジスロマイシンはただ一回の投与でトラコーマを引き起こす感染を阻止するという。これまでの研究で、アジスロマイシンは他の薬品と比べて長期間、高い効果を示すとされていた。

ライオンズは視力ファーストを通じ、製薬会社ファイザーから寄贈されたジスロマックを配布するだけでなく、感染防止の戦略を提唱し、教育に努めている。この戦略には、簡単な手術によって目蓋の変形を元に戻す、頻繁に洗顔することで病気の伝染を減らす、清潔な水を手に入れやすくすることや衛生状態の改善、更に保健教育の推進などがある。

視力ファーストがトラコーマ撲滅に乗り出したのは、九九年にスーダンとエチオピアで河川失明症とトラコーマと戦うため、カーター・センターに千六百二十万ドルを交付したのが初めだった。二〇〇二年には、エチオピアで手術と看護師養成を通じてトラコーマと戦うために、二件の交付金四十万六千ドルを承認。〇五年一月には、モーリタニアの全国トラコーマ撲滅プログラムのために八万七千ドルを承認した。

イギリスのロンドン大学公衆衛生・熱帯医学大学院の研究者たちは、東アフリカの一部落のほとんどにアジスロマイシンを投与すると二年間にわたりその部落には事実上病気が発生しないことを確認した。感染率は二カ月で九・五パーセントから二・一パーセントに低下し、二年後には〇・一パーセントまで下がった。

このような調査結果は出ているが、感染率の高い地域ではまだ二年に一度のアジスロマイシン投与が必要だと、公衆衛生の専門家たちは警告している。この調査が行われたのは、トラコーマの感染率が中程度のタンザニアの部落だった。

第六回LCIFクルーズ

第六回LCIFクルーズが、十月十五日から二十五日の日程で開催される。二〇〇五年度LCIF理事長に就任するクジアク国際会長夫妻がホストを務めるカリブ海クルーズで、パナマ運河と美しい自然が残るイギリス領グランド・ケイマン、珊瑚礁が美しいメキシコ・コスメルなどを巡り、各地で地元ライオンズと交流する。ツアーの詳細は公式ウェブサイトを参照（トップページ「LCIF」）。

新結成／クラブ名称変更

■新結成クラブ

茨城県・日立きらら▼結成順位／三五七七▼一月二十一日結成▼坂本雅史会長▼事務局／日立市末広町一・一・二　日立市青少年センター内（〒316-0006）TEL〇二九四・三七・二六二六▼スポンサー／日立中央

鹿児島明倫▼結成順位／三五七八▼二月五日結成▼野元一喜会長▼事務局／鹿児島市新照院町四一・一　城山観光ホテル五一八（〒890-0016）TEL〇九九・二二五・二五五一▼スポンサー／鹿児島城山

会議録　3月　主な議題だけをまとめました

複合地区国際大会委員長連絡会議

第五回複合地区国際大会委員長連絡会議は三月一日、東京・丸の内の日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①香港国際大会、②第四十四回東洋・東南アジア・フォーラムについて協議した。

①は最新日程、ホテル、参加人数、パレード、代議員会・記念夕食会について。

複合地区ガバナー協議会議長連絡会議

第七回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議は三月十四日、東京・丸の内の日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①スマトラ沖地震津波義捐金、②クラブ用品公認指定業者、③キャンペーン視力ファースト、④ライオンズ・クエスト・プログラム、⑤各委員会・委員長連絡会議報告、⑥第四十三回東洋・東南アジア（マニラ）フォーラム報告書、第四十四回東洋・東南アジア（仙台）フォーラム・第一回ステアリング委員会報告書、⑦その他について協議した。

①は既に送金済みの義援金総額の集約と、今後日本国内の義援金をまとめる口座開設を要望。

③は⑴は地区及びゾーン・コーディネーターの任期、⑶はCSFⅡ専門担当職員配属の要望。

複合地区YE委員長連絡会議

第四回複合地区YE委員長連絡会議は三月二十三日、東京・丸の内の日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①夏期交換、②香港国際大会におけるYEの集い開催、③共通経費会計処理共通経費について協議した。

①は派遣生、来日生の人数や日程、料金を報告。

②は335複合地区主催、六月二十八日、本部ホテルで開催。

ライオン誌日本語版委員会

第九回ライオン誌日本語版委員会は三月二十四日、東京・築地のライオン誌日本語版事務所で開催され、①小委員会報告、②副地区ガバナーとの懇談会開催要望、③四月号出来（三月二十二日発行／十二万八千部）、④五月号以降台割と主要記事予定、⑤国際協会公式ウェブサイト日本語版更新状況、⑥『ライオンズ・スクール』の割引、⑦ライオン誌用オンライン報告システム、⑧ライオン誌発送と送料請求、⑨個人情報保護法への対応、⑩香港国際大会取材、⑪ペイオフへの対応について協議した。

⑨は坂入法律顧問の助力を得て対策を検討する。

熊本白門▼結成順位／三五七九▼二月十二日結成▼後藤邦生会長▼事務局／熊本市島崎二・一五・二六　鈴木英昭様方（〒860-0073）TEL〇九六・三二五・五九三四▼スポンサー／熊本

熊本城北▼結成順位／三五八〇▼二月十九日結成▼志水一博会長▼事務局／熊本市黒髪一・一二・七　地建ビル五〇三号（〒860-0862）TEL〇九六・三四四・五三一八▼スポンサー／熊本龍峰

茨城県・日立ブーケ▼結成順位／三五八一▼二月二十三日結成▼佐藤英子会長▼事務局／日立市幸町二・一・一〇　㈱金馬車本社ビル一階（〒317-0073）TEL〇二九四・二一・四六二四▼スポンサー／333-B地区キャビネット

熊本菊南▼結成順位／三五八二▼二月二十五日結成▼辻重男会長▼事務局／熊本市鶴羽田町八九七・一　中嶋典子様方（〒861-5513）TEL新設

中▼スポンサー／熊本中央

大阪ファミリー▼結成順位／三五八三▼二月二十五日結成▼柴原芳子会長▼事務局／大阪市都島区網島町九・一〇　太閤園内（〒534・0026）TEL〇六・六三五二・二〇二八▼スポンサー／大阪都島

島根県・浜田マリン▼結成順位／三五八四▼二月二十六日結成▼松尾雅子会長▼事務局／浜田市殿町一二四・二（〒697・0027）TEL〇八五五・二二・三七五九▼スポンサー／浜田

神奈川県・湘南マリン▼結成順位／三五八五▼二月二十六日結成▼山口幸雄会長▼事務局／藤沢市朝日町一三・一〇　大澤ビル一〇一号　㈲バグスタッフ内（〒251・0054）TEL〇四六六・二九・六八七四▼スポンサー／330・B地区第8リジョン

千葉県・四街道順天▼結成順位／三五八六▼二月二十六日結成▼田島光会長▼事務局／四街道市亀崎二七二（〒284・0011）TEL〇四三・四二二・二六六七▼スポンサー／四街道中央

■クラブ名称変更

福島県・船引→田村

訃報

ライオン梅木参次郎（福井県・敦賀）

三月二十二日死去、九十六歳。六二年入会。七七年度334・D地区ガバナー。

日本ライオンズクラブ クラブ数・会員数集計

（2005年2月28日　各地区キャビネット事務局集計）

世界のライオンズ

2005.1.31.国際協会集計	■クラブ数	■会員数	期首からの増減
	46,020	1,347,214	△18,647

日本のライオンズ

2005.2.28. 各キャビネット事務局集計	■クラブ数	■会員数	期首からの増減
330-A　東京	203	5,663	49
330-B　東京・神奈川・山梨	194	6,079	△8
330-C　埼玉	108	3,088	5
330　計	506	14,827	43
331-A　北海道（道央地区）	79	3,032	36
331-B　北海道（道北・道東地区）	101	3,391	△ 22
331-C　北海道（道南地区）	63	2,363	22
331　計	243	8,786	36
332-A　青森	68	2,302	△ 26
332-B　岩手	57	2,014	7
332-C　宮城	85	1,977	51
332-D　福島	84	2,459	4
332-E　山形	56	2,156	31
332-F　秋田	56	1,732	△ 14
332　計	406	12,640	53
333-A　新潟・群馬	137	5,342	△ 78
333-B　茨城・栃木	140	4,500	△ 9
333-C　千葉	125	3,663	73
333　計	402	13,505	△ 14
334-A　愛知	119	6,294	55
334-B　岐阜・三重	92	4,365	△ 27
334-C　静岡	84	3,692	23
334-D　富山・石川・福井	100	4,640	67
334-E　長野	55	2,563	19
334　計	450	21,554	137
335-A　兵庫東	115	3,382	△ 15
335-B　大阪・和歌山	198	7,642	26
335-C　滋賀・京都・奈良	124	5,016	105
335-D　兵庫西	69	2,629	△ 7
335　計	506	18,669	109
336-A　徳島・高知・香川・愛媛	152	6,769	△ 35
336-B　鳥取・岡山	102	4,215	△ 30
336-C　広島	106	4,346	75
336-D　島根・山口	110	4,205	△ 16
336　計	470	19,535	△ 6
337-A　福岡・長崎	118	5,304	58
337-B　大分・宮崎	94	3,313	27
337-C　佐賀・長崎	82	3,345	74
337-D　熊本・鹿児島・沖縄	145	4,877	259
337　計	439	16,839	418
総計	3,422	126,355	776
世界のライオンズの	7.4%	9.4%	

CLUB REPORT クラブ・リポート

●この欄ではライオンズクラブ、レオクラブ、ライオネスクラブの活動報告を扱います。詳しい投稿要領は56ページをご覧ください。

千葉県・船橋ライオンズクラブ
ハーモニカ・ライブ大盛況

イラスト／篠田和夫

一月二十五日、JR船橋駅前フェイスビルきららホールが観客であふれた。結成四十四年を迎えた船橋ライオンズクラブ（内山敦子会長／20人）が主催、世界チャンピオン、全日本ハーモニカ連盟の町田明夫副理事長による多重録音ライブ演奏である。

小西宗仁実行委員長の司会進行で幕を明けたコンサートは、異色の企画演出で進められた。初めに、世界最大の奉仕団体であるライオンズクラブ国際協会の実態を知ってもらおうと、ライオンズの歴史や奉仕活動の実相を重厚にして軽妙なタッチでアナウンス。コンサートは地道なPR活動のかいあって、入場制限をするほどの大盛況。望外の成果を挙げることが出来た。収益金は、市内青少年健全育成事業への援助と、世界の発展途上国で飢餓に苦しむ子どもたちへの救済義援金として寄付された。

（石橋和雄）

（編）ライブを企画した小西実行委員長は「世界の中で困難な状況に置かれている人々の存在に気付き、ライオンズを通して多くの人々が思いやりの心を持つ契機となることを願い、この市民向けライブを企画した」と話しています。

連絡先↓TEL〇四七・四四四・〇八三〇

東京築地ライオンズクラブ
カンボジア奉仕に充実感

カンボジア・プレイベン州。メコン川を渡って一号線を南下すると、森の向こうにルビア高校の数棟のきれいな校舎が見えてくる。十二年前に我がクラブが寄贈したものだが、十年も経つと傷みが激しく、昨年修理費を支援した。シェムリアップの孤児院からも、日本の絵本や子ども用の薬が欲しいと依頼を受け、凡人社、大塚製薬、佐藤製薬の支援を頂き、それらを送った。

孤児院で暮らす子どもは五歳から十八歳までの約三十人。母親役は日本人女性のメナム博子さん。年に何度か「日本語のコンテストで二人の子どもが入賞しご褒美に日本へ行くことになった」「少女の就職が決まった」など嬉しい便りが届く。子どもたちの夢は外国語を覚えて観光ガイドになること、警察官、医者、お菓子屋さんなど意欲は十分である。

カンボジアにおけるクラブのもう一つの活動にアンコール遺跡修復支援がある。クラブ・メンバーで写真家のライオン斎藤富士夫（BAKU斎藤）は約十年間、日本政府の調査隊に参加し学術的な写真を撮影してきた。これを中心とした写真展が、七月十六日から東京都写真美術館で開かれる。高い天井高を利用して臨場感のある展示になる予定。東京へ来られた際にはぜひ訪れて頂きたい。

（会長／山田茂隆）

（編）一九九二年、ユネスコの世界遺産に指定されたアンコール遺跡群は、現在自然及び人的破壊により崩壊の危機にさらされています。保護・保存が急務とされます。

連絡先↓TEL〇三・三二三五・四〇一〇

三重県・津西ライオンズクラブ

小さな茶道家、お点前ご立派

「結構なお点前で」。子どもたちに日本の伝統文化である茶道を通じて、礼儀、落ち着きなどを学んでもらおうと、津市の養正小学校ＰＴＡと津西ライオンズクラブ（今井徹会長／41人）による「和の体験　楽しい茶道講座」が一月二十九日、同小学校で開かれ、児童と保護者約三十組が参加した。

講座では、クラブ・メンバーで茶道家のライオン岡田宗広が講師を務め、礼の仕方やお茶のたて方、勧め方、飲み方などを教えた。参加した親子で向き合って互いに茶をたて「どうぞ頂いてください」と差し出した。三年生の塚本悠太君は「泡がなかなか立たなくて難しかったけど面白かった」。母桂子さんは「子どもがたてたお茶はおいしい」と笑顔を見せていた。

（『中日新聞』1月30日）

（編）子どもたちの感想に耳を傾けると「楽しかった」「お茶が渋かった」「足がしびれた」などさまざまですが、参加された先生や保護者の方からは「貴重な経験をありがとう」と総じて好評価でした。

連絡先↓TEL〇四三・四八六・五五五五

新潟県・長岡柏ライオンズクラブ

オーストラリアからかわいいYE生

新潟県中越地震や水害で大変な年となった長岡の二〇〇四年も終わり、新たな一年がスタートした一月三日、とてもかわいい娘がオーストラリアから我が家にやって来ました。明るく素直な十六歳のアナを迎えて驚いたのは、その美しさと日本語が上手なこと。「オーストラリアで三年間だけ日本語を勉強した」そうですが、アナと会う人は皆驚いていました。

とても気が利くアナは何でも喜んで手伝ってくれ、料理も上手でアナのメニューは子どもたちにも大好評。日本食をおいしいと食べ、娘の通う中学校に一日体験入学をしては喜び、お古の着物を着て、雪だるまを見て、日本語を一つ覚えてと、あらゆることを喜び無邪気にはしゃいで、私たちもとても楽しかったです。「来年は日本の高校に留学してもっと日本を学びたい」と娘に言ったそうです。

二週間はあっという間。私がいちばん嬉しかったのは、「稲川家の娘になる？」と聞くと「なるなる」と何度も頷いてくれたこと。娘とも「今度は必ずオーストラリアに来てね」と約束し、日本を発ちました。

素敵な経験をさせて頂き、かわいい娘が一人増えたことを嬉しく思います。また機会があれば、ホスト家庭を引き受けたいと思います。

（第一ホストファミリー／稲川敏夫）

（編）稲川家では、「アナ！　早く風呂に入れ！　後がつっかえてるから！」と言う将大くん（小５）に、「ショウタ先に入ってイイヨ。アナ後で」と漫画本に見入るなど、本当の姉弟のような会話にも、大人たちは感動を覚えたそうです。

連絡先↓TEL〇二五八・三三・五二〇〇

千葉県・柏中央ライオンズクラブ

手話コンサートで心を共有

二月十一日、柏中央ライオンズクラブ（河合拓会長／44人）は、アミュゼ柏で「朝倉まみ手話コンサート2005」を開催した。手話シャンソン、手話トーク、手話ダンスによるコンサートは聴覚障害者支援事業の一環で、今回で四回目。チケットはほぼ完売、招待した市内の小中高生を含め、四百人の会場は満席となった。

聴覚障害者支援に活躍し、今回もご協力頂いたボランティア団体、要約筆記サークル「モーグル」と千葉県中途失聴者・難聴者協会に対し、今年度も活動資金を贈呈。公演では、生きる勇気と愛のメッセージが込められた歌唱と演技が繰り広げられ、耳の不自由な人たちと健聴者への素晴らしいプレゼントとなった。

「耳の聞こえない青年に出会い手話を知り、アズナブールの歌に出会って歌と手話が一つに。それが私のライフワークになりました」と語る手話シャンソン歌手の朝倉さん。素晴らしい歌唱力と心に響く語り口、手話は胸にこみ上げてくるものがあった。当日はゲストも出演。ダンスグループ「井上勝子と手話ダンスの仲間たち」は、ダンスを通して耳の不自由な人たちと健聴者が楽しさを共有する輪を広げている。また、NHK手話キャスターで、全国各地で手話講座を開いている田中清さんも手話トークの魅力を披露した。

日ごろシャンソンとは無縁のクラブの連中も、通路で立ち見しながら涙をポロポロこぼした。私もその一人である。

（幹事／越川健）

（編）「手話ってすごい」「心が洗われました」「愛が届きました。ライオンズさんありがとう」など、多くの感想が多く寄せられました。

連絡先↓TEL〇四・七一六七・二三一五

福岡シニア・ライオンズクラブ

遺志を継ぎ、老人施設に日本画寄贈

本年度の我がクラブの会長提言は「心豊かに友愛奉仕」。辞書を引くと、「友愛＝親友や兄弟間の愛情」とある。親友や兄弟を広義に解釈すれば、ウィ・サーブに通じるはずだ。

私が二十数年一緒に勤めた職場の同僚に、吉原国剛・美智子夫妻がいる。美智子さんは飛び抜けて字と絵が上手く、退職後、日本画に研鑽精進されていると拝聞していた。

昨年五月、「日本画・吉原美智子遺作展のご案内」の案内状が届きびっくり。すぐに会場の福岡市美術館特別展示室に駆けつけた。ご主人に伺うと、皆々に連絡せず内々に葬儀を済ませたという。誠に残念。

会場に入って再びびっくり。数十の絵画がきらびやかに掲げられている。あまりの見事さに言葉を失った。

鑑賞後、吉原さんから貴重な話を伺った。故人の遺志で、薄幸な人々の光になるように養護施設・老人ホームに絵画の一部を寄贈してほしいという。早速、手を挙げて吉原さんの了解を得、八十号の大作を得ることが出来た。「友愛＝親友や兄弟間の愛情」ならば、施設・ホームの入居者も親友や兄弟ではないか。

絵は現在、当クラブの奉仕先である老人保健施設の玄関に飾られ、入居老人の光となって輝いている。吉原美智子さんの遺志が生かされ、友愛奉仕の一助を成せてほっとしている。

（篠原亨）

（編）クラブが掲げた「心豊かに友愛奉仕」のスローガンが、故・美智子さんの「友愛」の気持ちを引き寄せたのでしょうか。

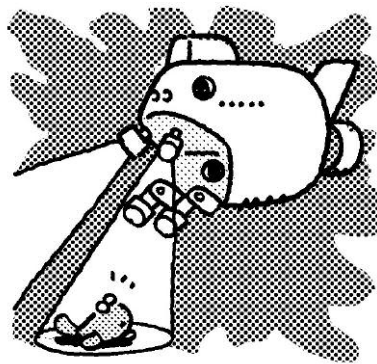
連絡先↓TEL〇九二・五六一・五三〇一

茨城県・大洗ライオンズクラブ

潜水船潜航長、深海の世界を語る

　子どもたちに科学に興味を持ってほしいと、大洗ライオンズクラブ（関根忠夫会長／38人）は、大洗わくわく科学館で、講演会「しんかい六五〇〇から見た海底の世界」を開いた。同町を始め、水戸市や旭村の児童・生徒約二百人が参加、神秘の世界を興味深く聞き入っていた。

　同クラブは本年度、発足四十周年を迎え、記念事業の一環として講演会を開催。日ごろから青少年の健全育成や子どもたちとの協働による奉仕活動に努めてきた。

　講演会の講師には、日本海洋事業のしんかい六五〇〇潜航長、飯島一樹氏を招いた。しんかい六五〇〇は、海洋研究開発機構に所属する有人潜水調査船。全長九・五メートル、重量約二五・八トン、最大速力二・五ノットで、乗員三人を乗せ、約六千五百メートルの海底まで潜航出来る。日本を始め世界各地の海域で調査を行っている。講演会では、ビデオなどで深海の様子を

上映し、飯島潜航長が体験談を披露した。引き続き、深海がどういう場所なのか実感するため、カップメンの容器を用いて実験。容器の入ったケースに水を入れ、徐々に水圧をかけていくと、一気に容器がつぶれる様子を観察した。

　講演後、子どもたちは深海の生物や様子などについて、さまざまな質問を寄せ、未知の深海の姿に大きな感心を持った様子だった。

（『茨城新聞』1月24日）

（編）子どもだけではなく大人までをも魅了する深海の世界。会を開催したメンバーの皆さんの方が興味津々だったかも。

連絡先↓TEL〇二九・二六七・〇四一九

335-B地区第10リジョン第2ゾーン

ゾーン合同開催「大地震にそなえて」

二〇〇三年九月、第10リジョン第2ゾーン所属の新宮、勝浦、串本の三クラブ合同で災害対策特別委員会を設置しました。近い将来に発生すると言われている東南海、南海地震について勉強し、地域のために何が出来るかを考えようという試みです。

第一回委員会を同年十二月二十一日に勝浦で開催。年度が明け、各クラブの会長幹事は変わりましたが、災害対策特別委員会のメンバーはそのまま再任。〇四年十一月二十八日、「大地震にそなえて」と題した大規模なイベントを行うことになりました。講演会、防災グッズ即売会、起震車による地震体験や、地元の高校生、専門学校生によるパネル・ディスカッションなどを行いました。

講演に先立ち、新宮ライオンズクラブの川﨑俊一会長が「地震だけに止まらず、我々はもっと自然を知り、守らなければならない」とあいさつし、講師の堀内正美氏は「天災は人間の力で止められないが、日ごろから隣近所をよく知り、災害発生時は互いに助け合うことが肝要である」と話されました。

何より嬉しかったのは、パネル・ディスカッションを終えて、高校生らが地震を身近に考え、友人、家族でも話し合っていきたいと言ってくれたことでした。

二次災害を減少させることは人間の力で必ず出来る、一人でも多くの人が命を守れるように、三クラブ合同の活動を続けていきます。

（第2ゾーン合同災害対策特別委員長／寺地伸行）

（編）当日は近隣の市から大型バスで来場する方々もいて、予想を上回る反響の大きさに驚いたそうです。

連絡先→TEL〇七三五・二二・五〇六三

静岡県・河津ライオンズクラブ

杉浦杯争奪少年剣道大会優秀選手賞

河津ライオンズクラブ（相馬理雄会長／12人）は青少年健全育成の一環として、㈶河津天心会が主催し、河津町が後援する「杉浦杯争奪少年剣道大会」に協賛してきました。河津町谷津洞山に道場を開いた故杉浦新一剣道名人の遺徳を偲び、毎年秋の彼岸九月二十三日に開かれるこの大会は、県下でも権威ある大会として位置付けられています。

河津町の郷社である来宮（きのみや）神社には三千数百年前に、五十猛神命（いそたけるかみのみこと）が種を下ろしたと言われる国の天然記念物の楠があります。平成十年に大規模な手入れが行われ、大きな枝が切られました。来宮神社ではこの枝を輪切りにし、氏子に与えました。当クラブでもこの輪切りの御神木を頂き、賞詞を刻んで杉浦杯の最優秀選手賞として贈ることにしました。

台座作成に当たってはデザイン、塗装などを河津町授産所及びクラブ・メンバーの工務店の協力で作成してきましたが、平成十五年度はボランティアも募りました。河津町の多くの人々の心の込もった御神木は、日々剣道の練成に励んだ、少年の一刻の思い出を長く心に伝えていくことでしょう。

クラブからはまた、大会に参加したチームごとに撮った写真に毎年一言言葉を添えて贈っています。

（幹事／本田日出男）

（編）名人ゆかりの道場と、神話の世界の御神木。何やら厳かな雰囲気。元気いっぱいの少年剣士たちの目にはどのように映るのでしょうか。

連絡先→TEL〇五五八・三四・〇八二二

まるごと 336複合地区

ROAR ローア

ヘッドライン:高知とさみずき

メーク·アップ1:愛媛県宇和島中央

メーク·アップ2:岡山西

ふるさと探訪:山口県久賀(周防大島)

祭のある風景:鳥取県倉吉

教育現場の目線でライオンズ・クエスト・プログラムに注目。普及に乗り出した女性クラブの活動。

高知とさみずきライオンズクラブ

■取材／編集部

近年の教育改革では「生きる力」をキーワードに、子どもたちの自尊心を育む教育に関心が高まっている。ライオンズ・クエスト（LQ）プログラムは二十年余り前から、世界各地でライフスキル（＝日常生活で直面するさまざまな問題に適切に対処するために必要な能力）の育成に成果を上げてきた。本誌の掲載記事をきっかけに、LQプログラム普及に取り組み始めた高知とさみずきライオンズクラブ（野々宮元会長／24人）の活動をリポートする。

中学、高校の教師、大学の非常勤講師と、二十年にわたり教職を務めた北泰子は、心の教育の必要性を強く感じてきた。在職中、ある教育プログラムの講座を受けてクラスで実践したこともある。クラスが変化し、人間関係がぐんと良くなるのを実感した。

昨年春、本誌に掲載されたLQプログラムの記事に、北は強い興味を抱いた。三月号の斉藤和康330－C地区LQ委員長へのインタビュー記事。続く四月号THEMEでは、プログラムの基礎となるライフスキル教育について詳しい解説がされていた。今の日本の教育に不可欠なプログラムだと感じたと言う。

記事では、LCIFがプログラムの実施団体に指定するNPO青少年育成支援フォーラム（JIYD）の中雄政幸事務局長（東京愛宕山ライオンズ）が、ワークショップの予定を紹介していた。早速、所属する高知とさみずきライオンズに、LQへの取り組みを提案してみた。

高知とさみずきライオンズは〇三年六月に結成された女性クラブである。北の提案に、まずはプログラムの理解を深めようと、ワークショップに北を派遣することが理事会、例会で承認された。

JIYDによるワークショップは二日間の日程で開かれる。LQの授業で行われるロールプレイなどを実践しながらプログラムを理解する、参加体験型の内容だ。昨年五月十五、十六日、さいたま市でのワークショップに参加した北は、非常に完成度の高いプログラムだと確信した。授業は楽しく、全体を通じて理解しやすい。単元ごとのテーマが実践用に細かいところまで練られている。これなら学校現場ですぐに使うことが出来ると手ごたえを感じた。

アメリカで生まれたLQプログラムは、もともと学校教師を中心とした人々によって開発された。更に330複合地区とJIYDが日本語版プログラムを作成する際も、現場の教師たちを中心に二年半を掛けて取り組んだ経緯がある。「現場で使いやすい」は当然の結果と言えるだろう。この後、クラブはLQプログラムの普及に取り組んでいくのだが、県教育委員会の担当課長に紹介した際、まず尋ねられたのが「すぐに使えますか？」ということだった。他の教育プログラムでは、長い時間をかけて研修を受けないとプログラム使用の資格が得られない場合が多いと言う。LQの場合は、二日間のワークショップを修了すると教師用テキストが配布され、現場ですぐに使うことが出来る。

北から報告を受けたクラブの行動は素早かった。結成一周年記念事業としてLQプログラム講演会の開催を決

定。実行委員長にライオン北を任命し、さいたま市のワークショップで講師を務めたLQ認定講師の北山敏和先生を招くことにした。企画が決まると、県と市の教育長に面会して協力と支援を依頼。いずれも心を育む教育プログラムの必要性とLQによく理解を示してくれた。参加者募集には、県教育委員会から県下市町村の各教育委員会にチラシを配布し、高知市内には市教育委員会を通じて小、中学校の校長あてに配信してもらった。また、市内はもちろん県内のライオンズクラブにも広く参加を呼び掛けた。

講演会は高知とさみずきライオンズクラブと、同クラブが属する336・A地区第4リジョン第1ゾーンが主催、県、市の教育委員会、地元新聞社、放送局などが後援し、昨年九月五日に開かれた。思春期のライフスキル・プログラム「困難を乗り越え、よりよく生きる力を育む」と題し、百六十人が参加した。

講演会からしばらくして、高知柏ライオンズクラブの小松和弘幹事から、自らがPTA会長を務める市立大津小学校でLQの授業を行いたいと申し出があった。父兄の間には、子どもたちの言葉が荒れていることや平気で人を傷つける言動に、心配が高まっていた。ライオン小松がPTAの会合でLQの話をすると、ぜひ六年生の学年授業に取り入れたいということになった。高知とさみずきライオンズクラブは再び北山先生を招くことにした。

大津小学校六年生百二十人を対象にしたLQの模擬授業は、二月二十四日に行われた。授業を終えた安藤厚子校長の評価。「『学校のよさ』や『自分のよさ』など、日々忘れがちなことを一つひとつ大切に取り上げて考え、内省する時間が持ててよかったと思います。教職員研修や他の学年の授業にも取り入れたいと思います。私自身も自分の心と向き合うよい機会でした」。見学した保護者からは「普段何気なくしている行動を振り返って考えてみる、そしてそれを発言する、というのはとても意味のあることだと感じました。今日話して頂いた『心の力』を生活の中で生かせるように、子どもたちと話し合っていきたいと思いました」と感想が寄せられた。

高知とさみずきライオンズクラブではライオンズ・クエスト委員会を設置し、継続的にプログラム普及に取り組むことにしている。

今年二月には、県の推薦で心の教育センターの宮地暁男指導主事を京都でのワークショップに派遣。クラブが費用を負担した。将来的には高知でワークショップ開催を重ねてLQへの理解を広め、学校現場で導入してもらうことを目標にしている。クラブにとっていちばんの問題は、ワークショップ開催などに掛かる資金の調達だ。LQプログラムの導入事業には、LCIF交付金を申請する道もある。既に導入した330・C地区の場合には、330・B地区と合同で申請した四大交付金十万ドルを利用している。

これまで、クラブ単位では注目度が低かったLQプログラム。高知とさみずきライオンズクラブの活動は、LQが有意義なクラブのアクティビティになり得ることを証明してくれた。

性感染症予防講習会開催

島根県・東出雲

性体験の低年齢化が加速する一方で、避妊や性感染症などに関する青少年の知識は低い。身体だけでなく心にも深い傷を残しかねない重大な課題である。東出雲ライオンズクラブでは以前からHIV感染予防の啓蒙活動を行っていた。今年度は薬害糖尿病教育委員会が青少年を対象とした性感染症予防講習会を計画。十月二十七日、東出雲市立東出雲中学校で、松江生協病院産婦人科部長の河野美江氏を講師に招き、「思春期のこころと性」と題した講演会を開催した。

河野氏は「避妊と性感染症は中学校で学んでほしい」と主張する。参加したのは同中学の二、三年生四百五十人。また、氏の要望により父兄にも参加を呼び掛けた。学校も家庭もそれぞれの立場で、子どもたちの性教育において果たすべき役割があると考えるからだ。

講演とスライドによる説明に生徒たちは真剣に耳を傾け、後日提出された感想文には、「今まであまり考えていなかった性の問題、また性感染症について認識を新たにした」というものが多く見られた。中学校からも感謝の手紙が送られた。クラブも初めての企画の成果を実感している。

将来を担う子どもたちが、知識不足から危機に陥るようなことは断じて避けたい。子どもたちが自ら正しい判断が出来る知恵と力を養えるよう、これからもこうした講習会を開催していきたいと東出雲ライオンズクラブは考えている。

情報／足立修（薬害・糖尿病教育委員会委員長）

自分だけの器作り 幼稚園で陶芸教室

広島ニューシティー

広島ニューシティー・ライオンズクラブは十年ほど前から幼稚園児や高齢者を対象に陶芸教室を行っている。手を使って物を作る作業が、脳の活性化や情操教育につながるからだ。今年一月十九日には広島市立大町幼稚園（白川香園長）で、同園では初めての親子陶芸教室を開催。園児と母親たち約百四十人が参加して信楽焼の皿や椀を作成した。

器を作るという経験を通じて、園児たちは、どれほど多くのことを感じ、学ぶのだろう。粘りのある土の感触を楽しみ、完成図を思い浮かべ、自らの手で少しずつそこへ近づけていく。陶芸講師の指導通りに、器の厚みを均一にしようと一生懸命だ。形が整うと、ボールや靴ひもなどを使って、穴や網目模様を付けて仕上げていく。想像力と創造力を駆使して、世界に一つしかない器を作り上げた。

素焼き、釉薬を掛けて再び窯入れと、要した日にちは延べ二十一日。待ちに待って完成した赤、茶、白、緑など色とりどりの作品は、二月二十日の日曜参観日に展示され、父親たちにも鑑賞してもらった。この器を大事に家に持ち帰った園児たちは、飾ったり、おやつを入れたり、繰り返し喜びを噛みしめた。

使い捨ての時代に、物をもっと大切にする習慣を身に付けてもらいたいという、幼稚園の教育方針に協力する形で実施された企画は、大成功を収めた。

情報／天崎俊章（幹事）

結成五十周年を会員十五人増強で祝う

岡山

一九五四年十一月、日本で八番目、中国地方最初のライオンズクラブとして誕生した岡山ライオンズクラブ。二〇〇四年十一月の理事会で、当時の在籍会員数五十九人を、結成五十周年となる次年度スタートまでに七十人に増強しようということになった。会員維持さえままならぬ昨今、大幅増員が容易ではないことは言わずもがな。しかし、五人もの地区ガバナーを輩出している老舗クラブとして、これからも他クラブの手本でありたい。この挑戦を成功させるために、六カ月間限定の会員増強特別委員会を設置。ライオン歴を問わず積極的に動ける会員十人を委員に登用して臨戦態勢に入った。

特別委員会では毎月会議を開いて成果の発表と見通しの協議を重ねた。理事会メンバーらの協力もあって、一月に四人、二月に五人の新会員を得、四月を待たずに目標達成かと思いきや、年度末に二名退会予定の情報が入る。そこでクラブ会報を通じてメンバーに支援を呼び掛けるや強力な助っ人が登場し、三、四月でなんと更に六人の新会員を得ることになった。半年に通算十五人。五十周年の節目の年は、七十三人の喜びの祝杯で迎えた。

目標の設定と実現に向けた努力、メンバー全員の協力と何よりも本気のやる気。それらを見事に結実させて、岡山ライオンズクラブは五十年の歴史の上に、また新たな一歩を踏み出した。

情報／村上正幸（会員増強特別委員長）

知恵を絞って環境保全

香川県・八栗

道路清掃や環境保全運動を単なる労力奉仕で終わらせず、ライオンズクラブのスローガンでもあるIntelligence（知恵）を生かした活動にしよう。道路にゴミを捨てさせないために、子どもたちを始め地域住民を活動に巻き込むために。そうして八栗ライオンズクラブが始めたのが「テイク・ハート運動」と「アジサイロード植樹運動」である。

前者は、ゴミ・ロードとも言われかねない瀬戸内海国立公園・庵治半島県道十キロの清掃活動。一九九九年には自然を取り戻す取り組みとして、小学生児童らを「環境探偵団」に任命、不法投棄が目立つ場所に児童が描いた立て看板を設置した。子どものころから地域の環境に対する高い意識を養っている。二〇〇四年度からは、県がスタートさせた道路里親制度「香川さわやかロード」の一認定団体として、最長の区間となる前述の十キロを担当している。

また後者は、花の力でゴミ捨てを抑止しようという試み。捨てられたら拾うイタチゴッコから抜け出し、捨てる側のモラルに訴える。昨年十二月、地域住民と共に高さ五十センチに成長したアジサイの苗七十株を沿道に植え付けた。今年六月には鮮やかな花を開く予定。これから徐々にアジサイ・ロードを伸ばしていく。

ライオンズのリーダーシップと住民の理解と協力が、地域の環境を守り育てている。

情報／三木力雄（PR情報委員長）

山口県・宇部（336-D）
10月5日、知的障害児施設・善和園の体育祭を開催した。弁当や記念メダルも準備。総勢250人が参加して楽しい時を過ごした。

高知桜（336-A）
2004年10月第1例会にて。女性クラブの高知桜ライオンズクラブでは乳幼児同伴の例会出席を内規で認めている。

広島県・因島せとうち（336-C）
9月18日、因島の地産地消を推進するグループと協賛で青空朝市を開催。ライオン・レディーの協力も得て、品物はすべて完売。

↑
島根県・安来（336-D）
11月14日、安来市の将来像をテーマにした「こどもたちの夢、新しい安来」を開催。市内10校の5、6年生90人と島田二郎市長が意見交換。また、市長と共にバーベキューも楽しんだ。

岡山県・倉敷中央、倉敷阿知、倉敷天領、倉敷平成（336-B）
1月25日、4クラブ合同で市内の8幼稚園に80トンの雪をプレゼント。雪を見る機会の少ない園児たちは会員が作った滑り台などで大喜び。
↓

香川県・観音寺（336-A）
10月28日、台風23号で土砂崩れに遭った住宅の床下の土砂をかき出した。
↓

●宇和島第一ホテル

愛媛県・宇和島中央

■取材：編集部

宇和島中央ライオンズクラブ（西崎政吉会長／36人）は例会への参加意識を高めようと工夫を凝らしている。「参考になった、面白かった」と思われる例会にするため、さまざまなアイデアを提供しているライオン井上柳一に、いくつか例を挙げて教えて頂いた。

一、卓話／外部から招いた講師、あるいは会員が専門知識を生かして行う。最近の会員卓話では、「右脳と左脳の違い」など

二、頭のレクリエーション／パズルやクイズに挑戦。賞品を出すと一層盛り上がる。会員の自主的な出題が原則で、あらかじめ事務局に問題を提出してもらう。例えばこんな問題。「百チーム出場の野球大会で、優勝が決定するまでに最低で何試合が必要か（制限時間三十秒）」（答え：九十九試合）

三、読書紹介／多忙な会員が多く、ゆっくり本を読むことも難しい。最近読んだ本の内容や感想を紹介する。興味が湧いたら、会員間で本を貸し借りしている。

言うまでもないが、こうしたレクリエーションばかりに時間を割いているわけではない。例会は会員にとって大切な意思表示の場であり、重要な決議や情報伝達の場である。そのため伝達事項は、正確にかつ短時間で行えるように文書にまとめて配布。その分、対話と協議の時間を取るようにしている。

ライオン井上が今後取り入れたいと思っているアイデアに、『ライオンズ必携』のQ&Aタイムがある。例会で必携の学習をしようというもの。

僭越ながら、編集部からもご提案を一つ。本誌「こころのチキンスープ」の朗読などいかがでしょう。感動的なストーリーに、鼻の奥がツンとしたり、ほっこりと胸が温まったりするはずです。（河）

例会データ

●例会日時
第二・四水曜日十二時十五分～十三時三十分

●例会場
宇和島第一ホテル（JR宇和島駅から徒歩八分）

●例会次第
開会ゴング／国旗に敬礼／君が代、ライオンズクラブの歌／会長あいさつ／食事タイム／誕生祝い品贈呈／LCIF献金会員ピン贈呈／委員会報告／幹事報告／卓話「頭のレクリエーション3」／テール・ツイスター・タイム／閉会ゴング／また会う日まで／ライオンズ・ローア

●クラブ事務局
TEL〇八九五・二二・九三二七

●岡山ロイヤルホテル

岡山西

■取材：編集部

岡山西ライオンズクラブ（大塚浩会長／48人）は今年度、全例会出席百パーセント達成という大きな目標にチャレンジしている。新年度を迎えるにあたり、クラブでは地区ガバナーのキーワード「原点にかえろう」をどう実践するか話し合った。そこで例会こそがライオンズの活動の原点、という結論に達し、大塚会長は例会出席百パーセントを提案した。

現在、今期十八回目となる三月第二例会まで、出席百パーセントを継続中。中にはやむを得ない理由で欠席する会員もいる。欠席の場合はメーク・アップを徹底。そのために、会長と幹事が手を尽くしている。欠席の連絡があると、まず幹事が電話で出席を勧める。それでも欠席した会員には会長が手紙を書き、例会報告と理事会や委員会の予定を伝えてメーク・アップを要請。更に幹事が電話をして出席の確約を取るという念の入れよう。その成果か、当初は四、五人だった欠席者も、最近は一人か二人に減った。

メンバーも皆、チャレンジの達成に向かって努力を惜しまない。海外旅行を早めに切り上げたり、工場火災で事業立て直しに懸命な中でも、例会出席を優先している。

クラブには今年度に入って七人の入会者があったが、いずれも例会出席を当然と受け止めている。おかげでクラブになじむのも早い。例会出席率が高くなると同時に、アクティビティへの参加も積極的になったという。

二月第二例会には、合田五一副地区ガバナーがこの挑戦に学ぼうと例会訪問。最初はやや緊張した雰囲気だったが、テール・ツイスターの指名でスピーチが始まると、途端に会場が活気づいた。この日、例会途中で最後の一人が出張先から駆けつけ、終身会員を含めた全員が揃って実出席百パーセントの達成となった。（河）

例会データ

●例会日時
第一・三水曜日十九時～二十時十五分

●例会場
岡山ロイヤルホテル（岡山駅から車で五分）

●例会次第
開会ゴング並びに開会宣言／国旗敬礼・国歌斉唱／ライオンズ・ヒム合唱／会長あいさつ／ビジター紹介／誕生月祝／食事／ビジター・スピーチ／テール・ツイスター登場／議題／委員会・同好会・研修会報告／寄付金集計発表／出席報告／また会う日まで／閉会宣言並びに閉会のゴング

●クラブ事務局
TEL〇八六・二三六・〇七九五

ふるさと探訪

山口県 久賀（周防大島）

独特の石積み文化を持ち、多くの世間師が住む瀬戸内の島

■取材／編集部

貧しい土地が生んだ久賀石工

瀬戸内海に浮かぶ周防大島は、海岸近くまで山が迫り、あまり平地がない。海岸沿いの国道から山側に入ると、すぐに坂道となる。

吉村峰満幹事の車で細い急勾配の道を登っていくと、あちこちに段々畑が見られた。ほとんどが、ミカン畑だ。

それらの段の一部に、大きな穴が開いている。よく見ると、その上の段にも穴がある。それどころか、あっちにも、そのまた向こうにも、穴が見える。

「かつては田んぼだったんですよ。この穴は、その灌漑用水路なんです」

と、案内を買って出てくれた前町長の吉村基(ライオン)が説明してくれた。久賀には「水洞(すいどう)」と呼ばれる、こうした暗渠が、千二百カ所もあるという。

「久賀はご覧の通り土地が狭いんで、少しでも多く米が獲れるよう、石を積んで棚田を組み、その中に水洞を作ったんです。小川だと、その上に米は作れないが、棚田の下を通せば、土地がそのまま使えますからね。子ども一人分の食い扶持ぐらいは収穫出来るというわけです」

なあるほど、である。

が、それにしても山の傾斜を利用し、湧き水を田に引き込むだけならまだしも、棚田の下に石を積んでトンネル状の水路を作るとは。久賀の石工、恐るべし。

実は、久賀は瀬戸内海の石積み技術発祥の地とも言われている。この水洞に見られるように、非常に高度な技術を擁して、島外でも活躍し、久賀石工の名は古くから知られていた。

❶❷久賀石工は各地でその技術を高め、郷里に帰っては石積みの棚田や石鳥居、石橋などを築いた ❸庄地灌漑用水洞。棚田の下にトンネルのようにして作られた水路 ❹ミカンの段々畑で今も現役で使われている水洞

琵琶湖疎水の縦坑工事や、萩と小郡を結ぶ陰陽連絡道の悴ケ坂峠を貫通する隧道工事などで、福田亀吉を始めとする久賀の石組職が腕をふるったという記録も残っている。また、各地の神社の石鳥居も久賀の石工たちが関係した。

「土地が貧しいですからね。長男はともかく、次男、三男が分家をして食べていけるだけの土地がない。そこで次男、三男は大工や石工、あるいは漁師として出稼ぎに行くしかなかったんです。

漁師は長崎の対馬や壱岐まで行っていますし、国内だけじゃなく、ハワイにも多くの人が行っています。大島の三軒に一軒は、ハワイに親戚がいるほどです」

と、吉村峰満幹事。

そう言えば、大島出身の民俗学者宮本常一も『忘れられた日本人』の中で、自分の郷里は江戸後期には人口が飽和状態にあって、次、三男は仕事を求めて他郷へ働きに出掛けた、というようなことを書いていた。当時、久賀では一日働いて十三銭にしかならなかったのに、ハワイだと五十銭になったのだという。

1)

❶周防大島･久賀のビー玉海岸の朝焼け
❷久賀の石風呂。西日本最大最古のもので、文化財重要民俗資料に指定されている
❸久賀歴史民俗資料館。宮本常一の勧めで収集した民具が展示されている。「久賀の諸職用具」は国指定重要有形民俗文化財
❹四境の役（第二次長州征伐）で村を守るため村人と共に戦い、維新後は西本願寺の改革に尽力した大洲鉄然生誕の地覚法寺
❺ほうじ茶（ハブ茶）を茶袋で煮出し、イモなどを入れて炊く大島の郷土料理・茶がゆ。二日酔いに効果抜群とか。旧久賀町港町にある割烹魚心（ライオン福田正明／TEL0820-72-1038）で味わえる
❻周防大島は山口県のミカン生産量の80パーセントを占めるミカンの島。写真右下の新品種「夢ほっぺ」はこの先ブレーク確実
❼久賀ライオンズクラブ文庫

2)

「世間師」の島

宮本の同じ著作の中に「世間師」という言葉が出てくる。『広辞苑』によると、「世間師（せけんし）」とは、「世情に通じて、巧みに世渡りする人。世なれて悪賢い人」とある。

世渡り上手もどうかと思うが、「悪賢い」となっちゃあ、呼ばれたくない称号だ。ところが、宮本の言う「世間師」は尊称らしい。

若いころに島の外へ出て見聞を広め、年をとってから島へ戻って暮らした人たちのことを、大島では「世間師（しょけんし）」と呼んだようだ。

そして何か事があれば、世間師たちは豊かな知識を元に、島の人たちの良き相談相手となっていたのだ。

出稼ぎに行く人が多かったせいか、旅や島の外での暮らしに対するハードルが低かったのかもしれない。進取の気性に富む、周防大島の島民性も、そんなところから培われたに違いない。

そんな島で育った宮本常一が、フィールドワークを中心とした学者になったのも偶然ではなかったろう。三千を超える村を歩き、記録にとどめた宮本も「世間師（しょけんし）」と呼ぶにふさわしい人物だったはずだ。

周防大島のライオンズ

周防大島は二〇〇四年十月に大島、久賀、橘、東和の四町が合併して誕生した。実は久賀町は一九〇四年一月一日に町制を施行して以来、百周年目を迎えたところだった。その町長を務めていたのが、ライオン吉村基である。

ライオンズクラブは一九六四年、大島大橋で結ばれた、対岸の柳井ライオンズクラブのスポンサーで、旧久賀町に大島ライオンズクラブ（岡村博臣会長／19人）が誕生したのが最初。

その後、大島ライオンズクラブがスポンサーとなり、七一年に旧橘町と旧東和町を奉仕地域として、大島オレンジ・ライオンズクラブを、七五年には旧大島町に大島中央ライオンズクラブをエクステンションしている。（鈴）

■大島ライオンズクラブから読者プレゼントがあります（62ページ）。

イラストマップ／小川和政

「壬生の花田植」広島県北広島町

豊穣の地に広がる田植の歌声
早乙女が早苗植え渡す伝統の農耕儀礼

■文：篠﨑淳之介／切画：風祭竜二

この二月一日、山県郡芸北町、大朝町、千代田町、豊平町の四町が合併して、新たに北広島町が誕生した。

その一つ、旧千代田町の壬生地区に、国の重要無形文化財に指定されている「花田植」の行事がある。

「壬生」という地名は古く、平安時代の末期には、もう壬生荘という荘園名が見られるという。この地は厳島神社の社領で、千代田町とも重なる地域であった。

源頼朝が挙兵して鎌倉に入った年の記録があって、そのころは百六十二町歩の田んぼを六人の長者一族が支配していたとも言われる。

昔、中国地方では、十数軒の田植え組を作って、協同して田植えをする大田植えの風習があったという。民話にも昔の長者の大田植えの風習をうかがわせるものがあって、皆が揃って田の神に祈りながら田植えをする風習は、かなり古くから行われていたものだという。

この風習を今に伝えているのが、壬生の花田植で、現在は毎年六月の第一日曜日に行われている。

花田植の行事は、今では飾り牛の行事と一緒になって行われ、併せて日本ならではの稲作に伴う民俗文化を伝えている。

花田植の日、壬生商店街の北端にある壬生神社から、飾り牛と、早乙女が繰り出す。派手な刺しゅうをした布を背中に乗せた牛が、その上に金色の鞍を置き、幟を立てて緩やかに田んぼに向かう。牛は十数頭。

花田植の舞台となるのは、神田とか花田と呼ばれる特定の田んぼで、牛と早乙女、それにお囃子連中がその田んぼに向かう。

牛は古くから農耕に使われてきたもので、昔さながらに田んぼに入って代掻きをするのだが、まことにのどかで優雅な田園風景で、日本の農耕文化の奥深さを思い知らされる。

花田植が、その思いを更に深めてくれる。かすりの着物に手っ甲、脚絆、それに菅笠をかぶった早乙女たちが横一列に並んで田んぼに入る。その後ろに、大太鼓、小太鼓、横笛、手打鉦で囃す囃し方が並ぶ。

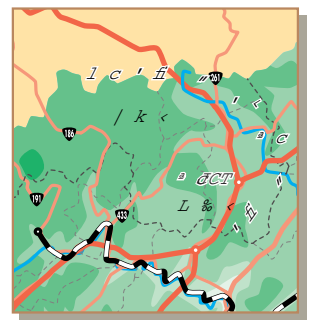
サンバイと呼ばれる総指揮者が囃し方の指揮をとる。サンバイというのは田の神の別称だともいう。指揮者は権威の象徴としてサゲ杖という名の棒を持つ。

早乙女たちは、囃しに乗ってサンバイと掛け合うようにして田植え唄を歌いながら、苗を植えていく。田植え唄は古くから伝えられた唄が多く、鳥羽拍子、大津拍子、八調子など多彩だ。歌詞は中世あるいは近世初期のものとも言われる。

早乙女は、太鼓のばちのリズムの刻み方によって苗を植えつけていくので、歌い方が早くなれば早く、遅くなれば遅く、作業のリズムも変わるのだが、これがぴたりと揃っていて、何か見事な芸能を見ているような気分にさせられる。

田の神を祀って、来る秋の豊作を願い、しかもなお、きつい農作業を楽しんでいた昔の人々の深い知恵をうかがわせる伝承、と言われているのもうなずかれる。この田遊びから田楽が生まれた。

花田植は明治中期に一端途絶えたが、昭和初期に、これを永久に保存伝承しようと、町の商家（現壬生商工会）が主催して毎年実施するようにになり今日に及んでいる。近年は壬生の花田植と無形文化財合同まつりとして行われ、県無形文化財の花笠おどりも披露される。

梅雨に向かう中国路に響く田植唄は、この地の歴史の深さを伝えて美しい。

●祭りメモ

毎年六月の第一日曜日。問い合わせ先：千代田観光協会（TEL〇八二六・七二・六九〇八）

●アクセス

広島市内から旧千代田町へは、高速道路経由のバスが便利。所要時間約五十分。

●周辺クラブ

北広島町には旧千代田町に千代田ライオンズクラブ（本田正治会長／49人：TEL〇八二六・七二・八八六六）、旧大朝町に大朝ライオンズクラブ（長田克司会長／32人：TEL〇八二六・八二・三七〇〇）、旧豊平町に豊平ライオンズクラブ（池田剛三会長／20人：TEL〇八二六・八三・〇一〇八）の三クラブがある。また、旧芸北町の会員が所属する加計ライオンズクラブ（石橋俊秀会長／34人：TEL〇八二六・二八・一七〇二）が、昨年十月一日にやはり合併により誕生した安芸太田町にまたがって存在する。このうち花田植の千代田ライオンズクラブ（http://www.chiyoda-lc.com/）は一九七三年、広島可部ライオンズクラブのスポンサーで結成された。

鳥取県・倉吉
山陰に春の訪れを告げる倉吉打吹流しびな

■文：編集部

倉吉の春の風物詩、倉吉打吹ライオンズクラブの流しびな

　倉吉は伝統的建造物群保存地区に指定されている。保存地区は町家が建ち並ぶ本町通りと、その裏通りに当たる玉川沿い（通称川端）からなる。これらは江戸時代から昭和初期に建てられたものがほとんどで、赤い石州瓦で葺かれた屋根が、家並みに統一感を与えている。

　倉吉は倉吉往来、津山往来、八橋往来、備中往来といった交通の結節点にあり、古くから栄えてきた。その後、「倉吉千歯」の名で全国的に知られた稲扱千歯や、倉吉絣などで更に発達。人口も増え、米問屋・鉄問屋・煙草問屋・醸造業などが生まれた。

　川端は、こうした商家の裏門倉・裏座敷・土蔵・醸造倉などの土蔵群が建ち並ぶ。裏通りのため、人通りがまばらなことも手伝い、昔町にタイムスリップしたような感覚に陥る。更に玉川をまたいで、各土蔵の木戸口に向かってゆるやかな反りを持つ一枚石の石橋が架けられている。赤い瓦の白壁土蔵群と運河、そして石橋の連続が、非常に美しい家並みを形成している。

　この川端で毎年四月、流しびな（写真上）の行事があり、今年も四月三日に行われた。倉吉打吹ライオンズクラブが企画したもので、今回、記念すべき三十回目を迎えた。

　流しびなは室町時代、厄除けに人形を身代わりに流したことから始まった。鳥取ではさん俵に人形を乗せて川に流すものが、よく知られている。

　倉吉の流しびなも、子どもたちの健やかな成長を願って行われているが、実はもう一つ、ライオンズらしい目的がある。それは、玉川の浄化だ。

　町ぐるみで清流の蘇生を目指すため、市民が関心を持つイベントを実施し、そこから運動を広げていこう。次代を担う子どもたちが、主体となって参加出来るものがいい。

　流しびなは、そんなディスカッションの中から生まれた。

　狙いは的中し、流しびなは回を重ねるごとに地域に浸透。商工会を始め他の団体も加わり、倉吉を代表するイベントに成長した。今では倉吉市観光情報や鳥取県観光情報などにも掲載され、倉吉の活性化という副産物まで生んでしまった。表紙は、そんな川端の景観を撮ったもの。（鈴）

●観光一口メモ

打吹公園は「さくらの名所百選」に選定されており、春はベスト・シーズン。

※流しびな関連情報：倉吉市観光情報（kanko.pref.tottori.jp/site/page/kanko/data/central/kurayoshi/event/nagasibina/）／鳥取県観光情報（www.apionet.or.jp/kankou/html/event/event_nagashibina.htm）

●アクセス

鳥取空港、米子空港どちらからでも、連絡バスで約四十五分。鉄道の場合はＪＲ山陰本線倉吉駅を利用。

●周辺クラブ

倉吉市内には倉吉（一九五九年結成）、倉吉打吹（一九六九年結成）、倉吉北（一九七九年結成）、倉吉グレート（一九八四年結成）の四クラブがある。

Executive Officers Message

執行役員メッセージ

前国際会長／
LCIF理事長
テーサップ・リー

視力ファーストの全貌

河川失明症は視力を奪うのみならず、働く能力や社会に貢献する能力までをも失わせてしまいます。しかしこの恐ろしい病も、ラテン・アメリカでは2010年までに根絶されるはずです。視力ファーストはカーター・センターなどとの協力に基づき、この地域における河川失明症の撲滅に取り組んでいます。

しかし視力ファーストは、河川失明症やラテン・アメリカのみに関する事業ではありません。それは世界中で失明を予防し、視力を回復させようとする壮大なプログラムです。ラテン・アメリカにおける河川失明症との戦いは、確かに目覚ましい成果を上げています。しかし同時に、トラコーマに立ち向かい、白内障を治療し、糖尿病性網膜症と緑内障への認識を向上させることにも成功しています。視力ファーストの15年間の成果は、まさに驚嘆すべきものでした。白内障から視力を回復した人々は460万人、失明から救われた人々は2,000万人、改善された眼科医療の恩恵を受けている人々は何億人にも達しています。視力ファーストの全貌を理解するには、LCIF年次報告に目を通すとよいでしょう。

このプログラムは予防可能な失明を食い止めるために生み出され、その全貌は想像を絶するほどに壮大なものなのです。

国際第1副会長
アショク・メータ

インド洋津波：会員による救援活動

昨年末のインド洋における津波災害は、人類最大の悲劇として歴史に刻まれることになるでしょう。広大な地域が廃墟と化し、犠牲者の数は現時点で16万人に達しています。被災地には世界中から続々と支援が寄せられていますが、ライオンズも人々の期待を裏切ることなく、救援活動に指導的な役割を果たしています。私たちは既に250万ドルを超える資金援助を約束し、この金額はまもなく増額されることになるはずです。のみならず、会員は素早く現地に駆けつけ、生命の維持に不可欠な食糧、水、衣類、避難所、その他の物資の供給を始め、可能な限りの救援活動に取り組んでいます。

被災した地区のライオンズには既にLCIF緊急援助金が交付されていますが、関係者は一様に、この支援活動が長期的なものになると認識しています。そのため、LCIFは特別に津波災害救援基金も設置しました。この基金への献金によって、LCIFは被災地のライオンズの活動に最大限の支援を提供することが出来るでしょう。彼らは住居、病院、学校を始め、運命の日に一瞬にして崩壊した建物を再建しようとしています。ライオンズはこうした救援活動によって被災者に希望をもたらし、その誇るべきイメージを更に高めることになるでしょう。

国際第2副会長
ジミー・M・ロス

被災者への支援を分かち合おう

大規模な災害に対処するには、国際協調と時機を得た支援が不可欠です。ライオンズクラブ国際協会の特徴の1つは、会員がこの理念を常に実行に移していることです。国、言語、文化の違いを超えて奉仕活動に協力し、互いの理解と配慮を促進しています。津波災害に対応する世界中の会員の姿を見れば、その事実は明らかでしょう。世界中の会員から寄せられた献金は、被災諸国の地域社会、基幹施設、保健施設の再建に役立てられることになるはずです。

最大の被災地には直ちに会員が駆けつけ、物資の分配に取り組んでいます。生き残った人々は家や愛する人々を失い、今後の数カ月間、長ければ数年間にわたり、想像を絶するような苦しみを味わうことになるでしょう。私たちはLCIFを通して被災者に安らぎを与え、その苦しみを少しでも和らげようとしています。

会員が救援活動の重責を分かち合っていることに、私は大きな誇りを感じています。彼らは「ウィ・サーブ」のモットーが単なる理念を超えて、自らの生き方そのものであることを立証しているのです。恐るべき津波は、奇しくも人間の最も気高い精神の発露を促しました。ライオンズによる人道支援活動はやがて、国際協会の歴史に燦然たる足跡を残すことになるでしょう。

LCIF REPORT

報告書で見る日本ライオンズの交付金事業例

ベトナムで障害者の職業訓練施設を建設

●兵庫県·神戸一の谷、神戸レインボー、明石魚住、各ライオンズクラブ●

一般援助交付金交付額：30,000ドル　事業完了日：2005年1月31日

ベトナム・ホーチミン市に建設した障害者のための職業訓練所全景

感動の竣工式

「感動しました！」

ベトナムの印象を聞くと、神戸一の谷ライオンズクラブの多田修会長と児玉利夫前会長は、口を揃えて、そう答えた。

「とにかく、ベトナムの人は心根が素晴らしいんですよ！」

と続けるライオン児玉の横で、

「よっぽど気に入ったみたいで、帰国以来、次はいつ行くんだ？ の連発なんです」

と、辰巳博昭幹事が笑う。

二〇〇四年十一月十三日、ベトナム・ホーチミン市で、神戸一の谷、神戸レインボー、明石魚住の三クラブが合同で建設した障害者の職業訓練所の竣工式が行われた。当日は二百人近い障害児や孤児が出席し、日本からやって来た三十人のライオンズと家族を盛大に迎えてくれた。

その式典の最後で、障害を持つ女の子が、こうスピーチした。「皆様の関心と愛情のおかげで、私たちは普通の人と同じように生活が出来ます。皆様への恩返しのために、私たちはこれからも頑張ります」。

「この前向きなスピーチには参加者全員が感動しました。と同時に、ライオンズの可能性に対して、誇りを持った瞬間だったと思います」

神戸レインボー・ライオンズクラブの山縣俊幸会長はそう話す。

ベトナム観光と奉仕の心

二〇〇三年一月。ライオン寺山正道は神戸レインボー・ライオンズクラブの仲間三人と、ベトナム航空の機上にいた。いつものように、『日経新聞』を広げたライオン寺山の目に、「ベトナム」という文字が飛び込んできた。これから旅する土地だけに、敏感になっていたのかもしれない。その記事は、「ベトナムで障害者の車いすが不足している」と伝えていた。

ライオン寺山はすぐに、その年の団英男クラブ会長のテーマ「グローバリゼーション（地球規模で社会奉仕）」を思い浮かべた。クラブ会員たちは、このテーマに、団会長の父で、クラブ結成時にひとかたならぬお世話になった故・団忠夫元国際理事の遺志を感じていた。ライオン寺山は、同行のライオン井上学、ライオン加澤慶久、ライオン竹口滋にも記事を見せた。

四人の気持ちは観光を通り越し、ベトナムでのアクティビティへと移っていた。旅行には四人の友人で、神戸市在住のベトナム人男性も加わっていた。ベトナムに着いたら、その男性に、障害者団体とコンタクトを取ってもらうことにした。

ベトナムは近年、二ケタの経済成長を遂げている。神戸レインボー・ライオンズクラブの四人が見たホーチミン市も、活況を呈していた。が、道路や港湾、電力供給など、インフラの整備が経済成長に追いつかず、ODAを含め行政の目はハード面に向かっていた。当然、福祉に回す予算は限られ、経済的な発展の陰で、ソ

竣工式で日本の民謡を披露する会員たち。中央で三味線を弾いているのがライオン児玉

フト面での立ち遅れが目立った。

一行は障害者の施設を訪問した。ベトナム戦争で、米軍が散布した枯葉剤が原因と思われる後遺症に悩む人や、最近では交通事故により障害を負う人が増えており、その施設も大勢の人が入所していた。

ここでは刺繍などの職業訓練を行っていたが、満足な設備もなく、十分な指導や教育が受けられる状態ではなかった。また、入所者は所狭しと並べられた木のベッドの上で生活していた。更にベッドの上で用を足すため、衛生状態も劣悪。しかも、男女の別はなかった。新聞記事にあった車いすはもとより、石けん、薬、衛生用品など、基本的な物品の購入すらままならない状態だった。

三クラブ合同事業へ

帰国後、四人は団会長とも相談の上、ベトナムへのアクティビティをクラブに提案した。クラブではこの提案を承認し、次年度の会長予定者であるライオン寺山を中心に事業を進めていくこととなった。

また、当時、地区IT委員会に所属していた団会長が、同じ委員会のライオン辰巳にベトナムの状況を話したところ、ライオン辰巳が大きな関心を示し、自クラブでこれを披露。神戸一の谷ライオンズクラブもこの事業に参加することになったのだ。更に地区IT委員会委員長であったライオン橋本維久夫が所属する明石魚住ライオンズクラブも参加を表明。ベトナム・プロジェクトは三クラブによる合同アクティビティへと広がった。

四月に入ると、三クラブは事業計画の策定に入り、ベトナム・ホーチミン市に障害者のための職業訓練所を建設することで合意した。刺繍用のミシンやアイロンなど、設備面も整えることにし、経費は約七百万円と見積もられた。事業資金は三クラブで約三百五十万円を調達し、残りはLCIF一般援助交付金を申請することにした。

が、夏季国際理事会では、一地区二件と決まっている申請枠が空いていなかったため、申請は秋季理事会に持ち越され、そこで承認を得た。これらLCIFへの申請と、訓練所建設にかかわる一連の活動は、神戸一の谷ライオンズクラブ及び現地に延べ十回以上訪問した神戸レインボー・ライオンズクラブが担当し、明石魚住ライオンズクラブが、そのサポートに当たった。

いくつもの壁を乗り越えて

ところが、資金的な目途がたち、計画が着々と出来上がる中、窓口となっていたホーチミン障害者・孤児支援協会(HASHO)から、同市人民委員会の許可が下りない、との連絡が入った。人民委員会の一貫性のない判断は日常茶飯事らしく、土地使用権に関する同じ文書が二通提出されたとして、一通は承認、もう一通は否認ということすらあるという。

そんな未成熟な行政に足をすくわれ、なかなか実際の作業に取りかかることが出来なかった。結局、ライオン寺山を始めライオン井上、ライオン加澤らのプロジェクト担当メンバーが、数回にわたりベトナムを訪問し、HASHOとも連携して交渉。最終決着を見たのは、二〇〇四年三月になってからだった。その後、設計が確定し、着工したのが五月。

三クラブによるベトナム・プロジェクトは、三代にわたる事業になってしまった。が、冒頭の二人の感激ぶりからも、その苦労が無駄ではなかったことが分かる。三クラブと会員たちにとって、大きな財産となったことは確かなようである。

International Program

もっと知ろう！ライオンズ

分かりやすい国際プログラム

若い会員に適した 柔軟なクラブ運営を行う 新世紀ライオンズクラブ

新世紀ライオンズクラブは年齢三十五歳までの成人で構成されるユニークなクラブ。二〇〇〇年度に国際協会がスタートした会員プログラムで、若い会員が活動しやすいように、柔軟なクラブ運営が行われる。ここにイギリスの二つのクラブを例に、その実態を紹介しよう。

ロンドン・フェニックス・ニューセンチュリー（NC）ライオンズ（クラブ）のメンバーの多くは元レオ会員。年齢制限でレオを卒業した者たちが、引き続き不幸な人々の助けになりたいと集まった。旧知の仲間に加え、会社の同僚や学生、医師、工場労働者などさまざまな職業のメンバーが、若々しくざっくばらんな雰囲気の中で、ライオンズについて学びながら奉仕活動を楽しんでいる。遠方に住む会員もいるため、例会場所は固定せず、毎月会員のホームタウンを巡る。これがクラブの活気を維持するのにも有効に働いている。

もう一つのイースト・アングリア・NCライオンズ（クラブ）の、ブランドン・テイラー初代会長もやはりレオ会員だった。奥さんともレオクラブで出会ったし、生活の大半をレオ活動が占めていた。だからレオ卒業後は当然ライオンズクラブに入会したのだが、月二回、ウィークデーの夜に開かれる例会に出席するのは仕事の上で困難になり、いま一つしっくりこない。そんな折、新世紀ライオンズクラブのプログラムが発表されたのだ。イースト・アングリア・NCライオンズ（クラブ）の例会は、一回はオンラインで、もう一回は土曜日の午後に開かれ、例会後にアクティビティを行うのが通常である。

若い人は次第に責任ある仕事を任されるようになり、時間に融通をつけるのが難しい場合が多い。そこでいずれのクラブもホームページを立ち上げ、会員間の連絡や情報の共有のほか、会合のない時に意思決定の票決が必要な場合などにも、オンラインを有効に活用している。クラブ会費は各会員の口座からクラブの銀行口座に直接引き落とされ、会計の負担を軽減している。

アクティビティでは、週末にレオやほかのライオンズクラブと合同で、資金の乏しい小学校の教室のペンキ塗りをしたり、がんケアセンター支援のチャリティー・マラソンや盲導犬支援のバーベキューの主催のほか、青少年奉仕にも積極的で、幼い子どもがいる会員は、将来彼らをレオに参加させたいと考えている。

また、アイデアの豊かさが買われ、イースト・アングリア・NCライオンズ（クラブ）は〇六年地区年次大会の主催を地区から依頼された。

新世紀クラブについての詳しい情報は、新クラブ及びマーケティング課へEメール（newcenturyclub@lionsclubs.org）で問い合わせを。新クラブ結成に必要な資料を網羅したエクステンション・キットは無料で提供されている。公式ウェブサイト（www.lionsclubs.org）にも詳しい情報が掲載されているのでご覧頂きたい。

獅子吼

題字／谷井 外二（愛知県・春日井中央）
（応募要領→56ページ）

●獅子吼（ししく）
①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力にたとえていう語。②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）

愛新覚羅溥傑氏を思う

阿戸 健次（埼玉県・大宮見沼）

清朝最後の皇帝、宣統帝こと愛新覚羅溥儀の実弟、溥傑氏が逝去されてから今年二月で十一年が経過した。一九九二年、溥傑氏の甥で当時早稲田大学に留学していた除国東君の同行案内で、北京の氏の自宅を訪問したのは八月半ばの蒸し暑い夏の夜だった。

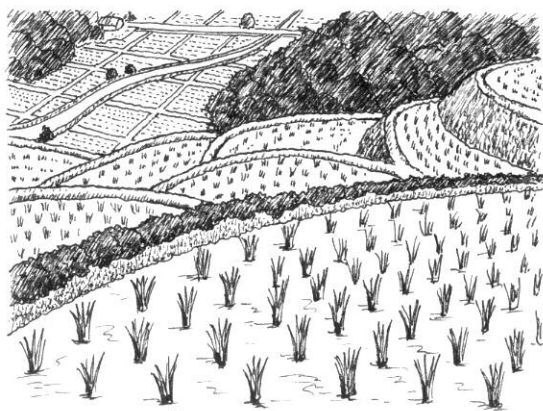
一九〇七年生まれの氏は八十五歳の高齢で、ご家族の話では夜九時にはお休みになると聞いていたので、八時から四十分間ほど貴重な時間を拝借し、離れの質素な応接間で面談頂いた。

約二百六十年続いた清朝が辛亥革命により滅亡したのは、氏が四歳の時だった。その後の馮玉祥軍のクーデターで紫禁城を追われて日本に留学、学習院及び陸軍士官学校で学び卒業された。

私は今期、複合地区のモンゴル・ライオンズ支援委員長を務めている関係で、昨年十一月にモンゴル大使館で開催された共和国宣言八十周年の記念レセプションに大使の招きで出席した。かつてユーラシア大陸に君臨したモンゴルは、辛亥革命で清朝の支配下から独立し、自治政府を樹立。二四年にソ連（当時）の支援で人民共和国を宣言した。清朝末裔の溥傑氏を思い出し、これも何かの縁と感慨にふけったものである。

三二年、旧日本軍部の策謀により中国東北部に「満州国」が誕生。兄の溥儀が満州国皇帝に即位、弟の溥傑氏は補佐役に任命され満州国の発展に協力された。三七年に日満親善の象徴として氏は嵯峨侯爵の長女浩嬢と政略結婚。その後、二女児が誕生したが、男児を望む関東軍は冷淡であったという。また、関東軍は現地満人に横暴な態度で接したため、皇帝溥儀や溥傑氏は傀儡政権として自分たちが利用されていることや、植民地化政策そのものに強い憤りを感じていたようである。

四五年八月、日本の敗戦により満州国も崩壊し、直前に参戦したソ連軍により皇帝溥儀と溥傑氏はシベリアに連行され、五年間抑留された。更に十年間中国で収容所生活を強いられ、共産党による思想教育を受けた。

浩夫人は四七年に日本に引き揚げたが、戦

イラスト／小川和政

後の混乱でたいへん苦労されたとのこと。長女の慧生氏は五七年に「天城山心中事件」に遭遇。マスコミは「天国で結ぶ恋」と報道し、悲劇の愛新覚羅一族と映画化もされたが、浩夫人の自伝『流転の王妃』によると、学習院大学同級生の片思いによる無理心中であった。生前の慧生氏が周恩来総理に出した手紙により、五九年に溥傑氏は特赦で釈放され北京に戻った。その後六一年、浩夫人が周総理の人道的な配慮により新中国へ帰国し、晴れて十六年ぶりに再会。八七年に浩夫人が他界されるまで仲むつまじく北京で暮らされた。

溥傑氏は中国人民代表大会代表（国会議員）に選出され、書道界の長老としても活躍されたようである。我々と会話された溥傑氏は終始にこやかで、流暢な日本語を話され、好々爺という印象を受けた。

日中昭和史の生き証人として波乱の生涯を送られた溥傑氏と浩夫人に対し、戦後六十周年を迎えるにあたり、改めて心からの冥福をお祈りする次第である。

（サービス業・65歳）

モース『日本その日その日』

山寺　仁太郎（山梨県・韮崎）

モース著石川欣一訳『日本その日その日』を買ったのは、東京新宿の紀伊国屋書店。昭和十七年（一九四二年）五月二日のことであった。この書物の扉に、その日と書店の名前が書いてあった。

東京に米軍の初空襲があったのはその十四日前の四月十八日。前年十二月八日に始まった大東亜戦争は連戦連勝。軍艦マーチが鳴り響くたびに大戦果が発表されるので、国中が戦勝気分にひたっていた。この日、十六機の爆撃機が白昼悠々と東京、横浜、名古屋、神戸などに爆弾を投下して去った。被害は軽微と言われたが、日本中まさに冷汗一斗、戦争の厳しさを初めて現実に味わっていた。

書店には、不思議と欧米の翻訳書が並べてあった。もっと敵国を知るようにという国策なのか、空襲で消失する前に出来るだけ売ってしまえという商魂であろうか。

私はモースという人物についても石川欣一という訳者についても格別な関心があったわけではない。内容がおもしろかったので、わずか二日間で読み上げた。開巻第一に訳者の

父親、東京大学動物学教授石川千代松氏の序文が載っている。恩師に対する深甚なる感謝の言葉と、この本を翻訳する機会を嗣子欣一に与えてくれた感謝の情が綴られている。温情あふれる文章である。

明治十年（一八七七年）六月十七日の深夜、三十九歳のモースは、横浜港に到着した。日本の腕足類研究のためであった。来日早々、横浜から新橋までの東海道線の車窓から大森付近の崖っぷちに貝塚を発見した。この発見は日本考古学の濫觴となった。偶然の発見であったが、さすがに一流の科学者の目は鋭かったと言えよう。

創設して間もない東京大学の生物学教室で幾多の俊英を育て上げたが、その一人が石川千代松博士で、この人の『中等動物学』という教科書を私は旧制韮崎中学の博物の授業で習った。また、日本に初めて進化論を伝えた人物としても忘れてはならない。ダーウィンの『種の起源』の出版から二十年後に、早くも日本の大学で進化論が講ぜられたのは偉とするに足ることだと思う。

モースはまた屈指の親日家であり、日本人の理解者であった。『日本その日その日』では、得意のスケッチで随所に日本の風俗を描いた。例えば、日本の便所は巧みにその不潔さを優雅に隠すことや、庭先の美しい景色を点景として楽しむことなどを細かいスケッチを添えて紹介している。日本を離れてからも、彼を訪ねる日本人を大いに親切にしたことは有名で、日本人の手を握って「チクバノトモ」と呼んだという微笑ましい話が残っている。

彼は在日中の日記、スケッチを元に大正六年（一九一七年）十月に上下巻の大冊を出版し、その翻訳は昭和四年（一九二九年）に石川欣一氏によってなされた。訳本も上下二巻となり、七百七十七点にも及ぶスケッチも収められている。私が買った創元選書版は、戦争中ということもあり一部が削除され、スケッチも多く割愛されている。現在は、完訳本を三冊にしたもの（平凡社東洋文庫）が出版されていて読むことが出来る。

さて、モースの原書が出版されたのは我がライオンズクラブが誕生した年でもある。メルビン・ジョーンズは、国際協会の設立にあたってモースのこの本を読んで、一つの発想を得たのではないかと私は空想する。

石川欣一氏は在米中、モースに格別に愛護され、プリンストン大学を卒業して毎日新聞の在外記者として活躍。戦争中はマニラの英字新聞を発行していた縁で一九五二年、マニラ・ライオンズクラブが日本にエクステンションした東京ライオンズクラブ初代会長となり、初代地区ガバナー、日本最初の国際理事として日本ライオニズムの基礎を築く人物となった。

E・S・モースという人物の親日感情、ライオン石川欣一の基礎固め。そういう一連のつながりの中に、私は世界最大の奉仕団体と言われるライオンズクラブなるもの、民族や国家を超えた人類愛、平和主義といったものを強く感じる次第である。

（味噌醤油醸造業・85歳）

MERLってなぁーに？

皆川　春安（千葉県・流山）

初めは何のことか分からなかった。委員会に所属し出席しているうちに、大事な存在であると感じるようになった。だが、クラブや他の会合で「マールって知っていますか」と聞いてもだれからも明快な返事はない。マールとは「MERL」で、Mはメンバーシップ（会員増強）、Eはエクステンション（新クラブ結成）、Rはリテンション（退会防止）、Lはリーダーシップ（指導力＝メンバーの質）。当地区では月例で委員会を開いている。

バブル華やかだったころは黙っていても仲間は集まってきたものだ。仲間と金があれば

何も怖いものはない。そう思って慢心していたが、気が付けば奉仕の精神に少し曇りがかかってきたような気がする。一人減り、二人

去ってずいぶん風通しが良くなり、今ではクラブが風邪をひきそうになっている。今の時代、奉仕の精神を発揮し、維持していくには相当の根気と覚悟がいることを肝に銘じなくてはならない。

それにしてもライオンズクラブにとってこのマール委員会は要を得て適切な存在なのだ。私なりに解説してみると、

①メンバーを増やそう　②クラブを増やそう　③減らしちゃだめ　④メンバーの質を良くしよう　⑤楽しく明るく

に集約される。①から④までは、四本柱となってどれも大事な支えとなっている。一本でもぐらついたら、多分基礎が持ちこたえられないだろう。そこで、

こマール（困る）／メンバーが減って、クラブも減った。もうこれ以上減ったらどうしようもない。ああ、困った困った。

あつマール（集まる）／こんな時は集まって相談する。どうしたら減らないように出来るか。どうしたら増やせるか。クラブの魅力とは何だろう。クラブを作って新しい仲間を呼ぼう。それにはどうしたら良いか。知恵を出し合って討議を重ね、結局自分たちが前向きに考えていかないとだれも助けてくれないと悟る。真剣な眼差しの奥にはやさしい人類愛の片鱗が覗く。

きマール（決まる）／総論は割合決まりやすいが、各論となると地域の微妙な温度差が出てくる。しかし、そこは何とか結論に持って行き、成り行きを見守る。方針は方法を生み、行動へと移る。次の行動がまた方針を生

み、新しいクラブ作りとなっていく。それは丸い輪のようにいつまでも果てることなく、巡っていくことだと思う。

ライオンズではだいたいが一年制をとっているが、長期計画の下では、みっちり気が遠くなるような施策があっても良いと思う。メルビン・ジョーンズの草創の原点に戻って、地味な中にも実のあるライオンズ・ライフを振り返ってみる必要を感ずる一人である。

MERL委員会で学んだこと。それは普段が大切だということである。卵が先か鶏が先かという議論ばかりに囚われることなく、地道な行動こそ急がば回れの道と信じ、常にお互いの気持ちが「暖マール（暖まる）」よう尊重していこうと思っている。（建築設計・63歳）

心の先進国ベトナム

秋吉 太平（熊本県・肥後小国郷）

肥後小国郷ライオンズクラブは、阿蘇外輪山の北側、小国町と南小国町に一九九七年に結成されました。スポンサーの熊本中央ライオンズクラブは一年間、大観望の峠を越えてやって来て、例会の指導を行ってくれました。

私の仕事は林業で、五〇ヘクタールの森林を育てています。気候に恵まれ、地形も畑のように緩やかな所です。小国郷が誇る優良材、小国材は、福岡に新設された国立博物館の収蔵庫にも使われています。私は我が家の山はもちろん、近隣の人が所有する森林の管理も手掛けています。それだけでは物足りず、チェーンソーを担いで全国の山々を歩き、健全な森林の育成に努めています。趣味は杉山を育てること。それ以外には、お酒、ビデオ、カメラといったところです。数年前、私が撮影した映像がNHKのBS放送で世界中に流れたこともありました。また、二〇〇四年には日本農業新聞（全国紙）に掲載された七百十九点のニュース写真の中から、私が撮影した写真がニュース・グランプリに輝きました。副賞として高級カメラと海外視察旅行を頂きました。旅行先はベトナムです。

ベトナム訪問は初めてのことでした。そこには五十年前の日本の農村と同じ風景が広がっていました。畦道には牛がいて、子どもたちは親の仕事を手伝っています。旅の途中、予定を変更して一軒の農家に立ち寄りました。度の強いお酒を頂き、水田での稲刈りにも参加させてもらいました。

世界遺産のハロン湾では、林立する奇岩と、そこから昇る朝日が見事でした。夕暮れ時の海水浴場の若い人たちのシルエットも格別でした。世界的に知られる水上人形劇では、民族楽器の音色、語り手、人形を操る人たちの息がぴったりでこれも見事なものでした。

また、旅行中にたまたま遭遇した北開放五十周年のパレードにも参加。パレードの人たちはみな喜んでくれましました。

物質的に豊かになり失われたものの多い日本ですが、今こそ日本の原風景を感じることが出来るベトナムを訪れてみてはいかがでしょう。さまざまな生活を見ることに意義があると思います。ベトナムを旅行して、この国が心の先進国だと気付きました。（林業・62歳）

俳壇

■選者　森　澄雄

【特選】

雛の間を客にも見せて京菓子舗　（兵庫県・神戸シニア）中村麦芽子

（評）三月三日の雛の節句、雛の間を客にも見せている京の菓子舗。老舗（しにせ）であろう。いかにも京の菓子舗の老舗である。

南溟に散りし御霊や燕来る　（香川県・長尾）鶴居　健

（評）南溟は南の方にある大海。太平洋戦争の南方の海で戦死した御霊をしのんでいる。その南方から燕が飛んで来たのだ。

（応募要領→56ジペー）

【入選】▼

月おぼろ湯の河津路に灯の明り　（千葉県・東庄）大須賀光幸

貼り替へし障子明りに影の翔ぶ　（千葉県・大栄）野中婦基子

蹲踞に寒九の水の溢れをり　（愛知県・西尾）牧　孝

妻の留守一人目刺を焼き昼餉　（愛知県・高浜）岩月　三則

卒業証書高高上げて受け取りぬ　（岐阜県・大垣東）大橋庄一郎

僧走り闇夜を焦がす修二会かな　（兵庫県・西脇）藤井きよ子

蕗の薹里に残れる四足門　（兵庫県・西脇）高瀬　博子

奈良墨の香の満つ練場凍て返る　（大阪カトレア）吉村美穂子

吹きつくる風を気づかひ雪おろし　（大阪夕陽丘）森口　清子

天満宮参る諸人梅の友　（大阪夕陽丘）角野桂治郎

城高く置きて梅が香いよよ濃し　（大阪夕陽丘）田中　一栄

桜葉の塩梅（あんばい）の良し桜餅　（大阪府・東大阪）木村　稔

裏庭に牛車繕ふ梅の宮　（大阪府・堺浜寺）仲西　健豊

雪しづる美しき夜となりにけり　（和歌山県・伊都高野山）慈幸　三沙

水取や青衣の女人真夜に立ち　（奈良）小林　成子

歌壇

■選者　春日真木子

【特選】

わが耳に意味もたざれど春を呼ぶ鳥語に似たる少女らの声
（青森まほろば）加藤　捷三

（評）今日（こんにち）の少女たちの声は早口であり、略語も多い。昔の少女たちと較べ弾みがある。これを「鳥語」に似ているという比喩が面白い。一、二句は「わが耳に意味もたざれど」と、自己との世代差と、軽い揶揄をふくめての表現である。鳥語は春告鳥の鶯の声か、いや鶯に限らず、春は鳥たちの囀りの最盛期である。「春を呼ぶ」明るさが好ましく、作者の前向きの態度もうかがえる一首である。
今号は、岩間、野村氏の作品にも注目した。

（応募要領→56ページ）

【入選】▼

コントロールされいる命か生きるため今日の分だけ錠剤を飲む
（北海道・訓子府）吉野　良子

降りつづく天の便りの雪の嵩読みあぐねゐつきのふもけふも
（青森県・弘前）岩間　甫

嫁がぬと決めし娘のひな収む暮れゆく外にひとひらの雪
（千葉県・館山中央）荻野　貴子

二世帯の棟の厨に嫁のきて醤油を乞ふに妻の弾みぬ
（千葉県・東庄）宇井　秀雄

購いしリンゴ二つを手にのせて男はゼブラゾーンを急ぐ
（愛知県・西尾東）坂部喜三江

前向きに生きしは杳き日となりぬ初老迎える子の背に凭る
（石川県・羽咋）竹津　弘子

温もりに触れて社屋を出で来れば梅匂うなり広き園生に
（兵庫県・明石フレンドリィ）上山　松子

天日干しの半田そうめん寒風にさらされながら光沢（つや）をましゆく
（徳島県・鴨島）乾　忠義

「ぬくぬくのクッキーどうぞ」と孫の手のネイルアートに剥（は）げし箇所あり
（高知県・土佐香南）野村土佐夫

暗がりにひとつ炎の明り見ゆ何の明りか尊とかりけり
（大分県・中津沖代）松本　達雄

柳壇

■選者　大木俊秀

【入選】▼

生きている証拠鼾をかく夫婦
（青森県・五所川原）坂本　憲昭

主語述語哀しいことが多過ぎる
（青森県・八戸中央）大久保健峰

中流の夢をむさぼるホームレス
（青森県・黒石）西谷　博文

大相撲地球儀そばに置いて見る
（岩手県・藤沢岩手）及川　平一

うまい酒飲んでは苦い薬飲む
（岩手県・水沢中央）千葉　章男

茶筅ふる時だけ若い妻の所作
（宮城県・気仙沼）高橋　脩

白鳥よ拉致の子を捜しておくれ
（新潟県・五泉）佐藤　隆吾

着ぶくれてペンギン歩き街をゆく
（千葉県・東庄）藤崎　久男

独り言一人二役しています
（福井県・敦賀みなと）田中　信幸

世界一石油の国を援助する
（兵庫県・宝塚グリーン）中島　弘風

真心の奉仕がついに福を呼ぶ
（鳥取県・倉吉打吹）吉田　A公

身嗜みきちんと老いの薄化粧
（宮崎橘）井上　忠一

捨てきれぬ勿体無いが肥満体
（宮崎橘）甲斐　忠視

のし袋今日はめでたい筆の跡
（長崎県・諫早）大﨑　博正

順々に積荷下ろしてゆく余生
（佐賀県・佐世保西）神谷　治雄

【特選】

人間の鮮度を保つ読書量
（青森県・弘前中央）高橋　敬

（評）そうか、読書とはそういうものだったのかとうなずかせる一句です。「鮮度を保つ」が文字通り新鮮。「読書三到」を思い出しました。読書は、声に出して読み（口到）、よく目を開いて見（観到）、心を集中して（心到）熟読することが肝要という意味ですね。「読書尚友」とも申します。やっぱり本は読まなくては。

耐震へしぶしぶ降ろす鬼瓦
（新潟県・見附）宇之津滋朗

（評）鬼瓦とは、そもそもが建物の安穏を祈って飾られるもの。七世紀ではレンゲの花を文様化したものだったのが、八世紀になって、鬼や獣が主流になったと言われています。この句、大地震に遭われた新潟県の方がお作りになられたので、余計説得力があります。安全のために、そのシンボルの鬼瓦を降ろすところに着目。これが川柳眼でしょう。

（応募要領→56ページ）

伝言板

■モンゴル国ライオンズ年次総会

六月十日、モンゴル・ウランバートルで開催される「第二回モンゴル国ライオンズ年次総会」の参加者を募集しています。モンゴルのライオンズは一九九三年、日本ライオンズのスポンサーで誕生しました。現在は六クラブ、百五十七人のメンバーが活躍しています。モンゴルの雄大な草原と美しい満点の星空、馬頭琴の演奏やホーミーの歌声といった感動、そして中野了モンゴル・コーディネーター（東京渋谷ライオンズクラブ会員）が「ライオンズの原点を見るようだった」という第一回総会についての記事は『ライオン誌』二〇〇四年十一月号に掲載されています。旅行予定は六月八日〜十三日の五泊六日、費用は十六万八千円。ウランバートルとゴビに滞在します。申し込み締め切りは五月十日。詳しくはKジャパンツアーセンターの浅田均専務取締役（東京渋谷ライオンズクラブ会員）までお問い合わせください。
TEL〇三・三五三七・二二八〇
FAX〇三・三五三七・二二八二

■姉妹クラブ募集

石川県・高松ライオンズクラブ（坂室武司会長／42人）が姉妹提携の相手クラブを募集しています。日本海に面した高松は、かつては漁師町、宿場町として栄え、今は砂丘地を利用してのブドウ栽培も盛んな町。会員全員が事業主で地場産業の繊維業と鉄鋼業が主。クラブは和やかな雰囲気で、毎年度末の最終例会に一泊の旅行例会を行い、一年の無事終了を祝い、次年度について語り合います。提携相手には必須の条件はありませんが、山間の温泉町などであればこの旅行例会に当てて毎年訪問も可能と考えています。今年度はクラブ結成二十周年に当たり、九月十日に記念式典が行われます。お問い合わせはクラブ事務局まで。
TEL＆FAX：〇七六・二八一・三三四七
Eメール：sakamuro@poppy.ocn.ne.jp

➔ライオン誌事務所来訪者芳名録

3・7 千葉県四街道 楠岡 巖
3・14 東京町田クレイン 金子 安男

ライオン誌投稿要領

カラー

■「MY BEST SHOT」62ページ
●応募資格：会員（ライオン、ライオネス、レオ）及びその家族でアマチュア。
●応募作品（題材は自由）プリント（サービス判〜四ツ切）、スライド（35ミリ以上）、データ（長辺1600ピクセル程度／JPEG最高画質）。一人5点まで。
●プリントは写真の裏に紙を貼り、スライドには必ずマウントをつけ、データはメールの添付書類で本文に、氏名、クラブ名、年齢、題名、撮影場所、撮影年月日、住所、電話番号を明記。返却希望の場合は、住所、氏名を記入した返信用封筒に切手を貼り同封。締切：毎月15日。

■「ライオンズ・ギャラリー」63ページ
●会員及びその家族。プロ、アマ不問。
●応募作品：絵画、版画／題材は自由。作品のスライド・フィルムか、カラー・プリント（キャビネ判）。氏名、クラブ名、年齢、職種、絵のサイズ（号数）、画題を明記し、絵に関するエッセー、自評など（400字程度）、顔写真を添付。

本文

■「クラブ・リポート」22〜26ページ
●ライオンズ、ライオネス、レオクラブ。
●アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に800字程度で。新聞記事は新聞名、掲載日を付記。関連写真があれば添付（返却希望の場合はその旨を明記）。

■「獅子吼」48〜52ページ
●会員及びその家族によるエッセー、提言など。1600字程度。職種、年齢を明記。
●題字はハガキ程度の大きさ。

■「俳壇」「歌壇」「柳壇」53〜55ページ
●会員及びその家族。
●一人ハガキ1枚に3句／首まで。締切：毎月15日。

■「リーダース・プラザ」56〜57ページ
●クラブ会員刊行物：クラブ並びに会員が刊行された出版物を1部送付。
●伝言板：読者間の情報交換に。
●読者から：本誌への意見、感想など。

▼締切の記入のないコラムは随時受付。誌面の都合で編集したり、掲載出来ない場合あり。原則として原稿返却はなし。
▼住所、氏名、クラブ名を明記。文字原稿及びサービス・アクティビティはEメール投稿も可。

送り先：〒104-0045　東京都中央区築地2-2-1　築地細田ビル7階　ライオン誌日本語版事務所　各コラムあて
Eメール：edit@thelion.jp

読者から

▼本誌へのご意見・ご感想をお寄せください。
編集部

あいさつ運動

●先日新聞紙上に、日本の十五歳の読解力低下についての記事があった。ゆとり教育の歪みであろう。しかし知育もさることながら、現代の子どもたちの徳育の不足も見逃せない。そこで我がクラブでは青少年健全育成のために少年サッカーや野球大会を開催、また交通安全指導も兼ねて、市内五校の校門前や交差点に立ってあいさつ運動をすることにした。初めはややはにかみながらだった「おはようございます」の返事も、今ではだいぶ慣れて笑顔で大きな声であいさつしてくれるようになった。散歩の途中で出会った時も「こんにちは」と声を掛けてくれる。運動の効果が出始めたかなと、たいへん喜んでいる。次世代を担う子どもたちは我々大人の姿を見て育つのだと、心して行動しようと決意を新たにした。

広島県・府中●原田政登

東欧での大規模な小児眼科検診

●三月号「SightFirst Update」のライオンズ世界視力デーの記事を読みました。ボスニア・ヘルツェゴビナの子どもたちの視力喪失を防ぎ、治療が難しい幼児失明に取り組んでいるとのこと、素晴らしいですね。視力喪失の危機にある世界中の人々を助けるためにもライオンズの熱意と力が必要なんですね。私は入会二年目、ライオンズの幅広い活動を少しずつ学んでいます。

大阪府・岸和田コスモス●八田章子

クラブ同様まだまだ若い

●私が所属するクラブはまだ結成二年。平均年齢は六十歳を超えております。定年を迎えてから入会した人が多いのですが、皆意欲的に社会奉仕に取り組み、例会の出席率も常に八〇パーセント以上。老いてますます盛んです。「こころのチキンスープ／茶髪さん献血奉仕にトップ切り」で、千葉県・船橋シニア・ライオンズクラブのご高齢の皆さんが献血の呼び掛けに活躍されている様子を拝見し、非常に力づけられました。私たちもまだまだがんばれる年齢と、決意を新たにしました。

山形県・天童もみじ●押井邦昭

奉仕の種を蒔き、根付かせる

●各クラブの活動を拝見しながら、いつかは我がクラブも大きな写真入りで載りたいものと、地道な活動を通じて地域の皆様にウィ・サーブの種を蒔いています。昨年は韓国・馬山ライオンズクラブと姉妹提携を結び、福岡県立東鷹高校と馬山高校との交換留学などに力を注ぎました。異業種交流でも多くの方々と手を携えて地域の活性化に取り組んでいきたいと思っています。

福岡県・田川●平田俊成

想像力を刺激する「伊賀・名張」

●三月号「ふるさと探訪」に三重県名張が載っていたので早速開いて読みました。子どものころよく祖父が、伊賀のおばさん、名張のおばさんと言うのを耳にしていたのです。子ども心にどんな所なんだろうと想像したものです。最近は赤目四十八滝を巡るバス・ツアーなどもよくあり、いつか参加したいと思っていました。この記事を読んで、その気持ちがますます膨らんできました。

岡山県・倉敷東●阿部卓立

ライオンズを基礎から学ぶ

●『ライオン誌』の連載をまとめた、「ライオンズ・スクール初級編」と「中級編」を今読んでいますが、読みやすく、ライオンズを理解するのに大いに役立っています。新会員に入会の記念にプレゼントして、よく勉強してもらったらよいなあと思います。

長崎県・諫早センチュリアン●真鍋泰彦

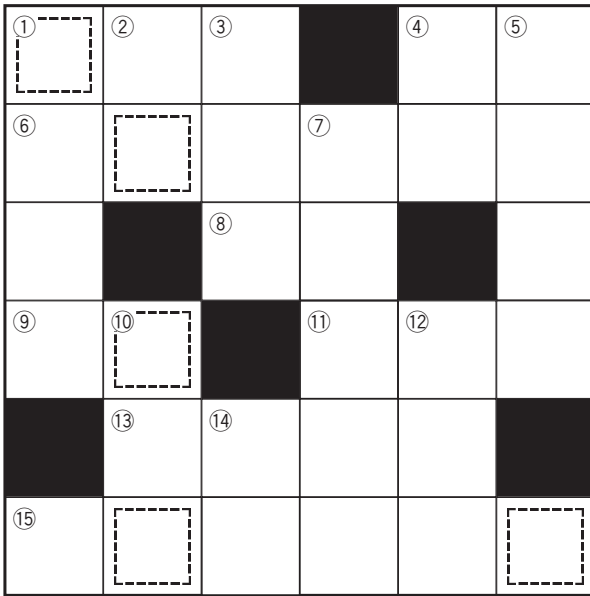
今年はクラブ結成二十五周年

●毎月『ライオン誌』が例会で配られるのを楽しみにしております。特に「クラブ・リポート」などの他クラブの活動の記事はたいへん参考になります。「獅子吼」「ふるさと探訪」も興味を持って読みます。我がクラブも今年、節目の年。地元で喜ばれる、地域に根ざしたアクティビティを心掛けています。

香川県・八栗●対馬恭三

クロスワードパズル

点線に入る文字をヒントを基に並べかえてください。正解者の中から十人の方に記念品を差し上げます。ハガキに答えと氏名、クラブ名、住所、電話番号、本誌の感想を書いてご応募ください（あて先は66ページ）。締切は二〇〇五年五月二十日。

①（点線）	②	③	■	④	⑤
⑥	（点線）		⑦		
	■	⑧		■	
⑨	⑩（点線）	■	⑪	⑫	
■	⑬	⑭			■
⑮	（点線）				（点線）

解答 □□□□□

ヒント：クラブが国際協会の一員である証し

↓タテのカギ

☒二〇〇三年末〇〇デジタル放送開始。

☒中米のユカタン半島に栄えた高度な都市文明。紀元三百～九百年ごろが最盛期。

☒夜間点滅信号のある交差点。優先されるのは何色の点滅？

☒勝負の際にかつがれる。

☒愛知万博でモリゾーと〇〇〇〇に会おう。

☒靴下などの模様としておなじみ、菱形の〇〇〇〇〇・チェック。

☒テムズ川のロンドン塔付近に掛かる鉄橋「〇〇〇・ブリッジ」。

☒一五三二年に滅亡した南米のアンデス一帯に繁栄した文明。

☒牛の背中の肩寄りの部分、〇〇ロース。

←ヨコのカギ

☒端午の節句に食べる餅。

☒自分の主張や考えを広く人々に知らせることを「〇〇を飛ばす」と言う。

☒東京にもサンフランシスコにもあるプロ野球チーム。

☒自動車のギアの低速位置。

☒短〇、流行〇。「〇」に入る漢字の読み。

☒道路沿いに植えられる「〇〇樹」。

☒二枚の書面にまたがるように捺す印鑑。

☒和名では「鋼索鉄道」。

■前回の答え

ヒ	エ	■	ト	ザ	マ
ヤ	ド	カ	リ	■	ラ
ツ（点線）	■	イ（点線）	ノ	ナ	カ
カ	シ（点線）	コ	■	メ（点線）	ス
ニ	ユ	ウ	ガ	ク	■
チ	ン	■（点線）	ム	ジ	ナ

答えは「シツメイ（失明）」

古民家で考えた暮らしの知恵

第5回

五月の空を泳ぐ鯉のぼりに願い込め

■新田弘子
せせらぎ公園古民家館長
（神奈川県・横浜鶴見東ライオンズクラブ）

風薫るさわやかな季節となり、公園を散策する人が、日ごとに増えてゆきます。古民家の庭の鯉のぼりも風に向かって勢いよく泳ぎ、池には睡蓮が咲き始めます。周りの木々が濃い緑に変わり、森の雰囲気が醸し出され、モネの睡蓮の絵のようです。池の水鳥たちが北に去った後には、シジュウカラ、ハクセキレイ、ツグミ、ムクドリ、メジロなど、さまざまな鳥が目立つようになります。何よりも楽しみなのは、都会では珍しくなったカワセミが、夕方になると餌を求めて池にやって来ることです。数年前には一羽だったこの鳥が、今では三羽も集まることがあります。あの瑠璃色の美しい鳥を古民家のぬれ縁に腰掛けて眺めている時の充足感は、何とも言えません。池にはメダカやクチボソもいて、都会にいることを忘れてしまいそうです。

一見のどかな公園ですが、魚を捕まえようとしたり、傷つけたり、鳥の巣を壊したりと、いたずらする人が絶えません。注意しても聞く耳を持たず、逆に文句を言われる始末です。公園のものは、市民みんなのものだという認識がないようです。私が子どものころには、魚捕りや虫捕りをする場所が身の回りにたくさんありました。腹の立つ一方で、同情したくもなります。

五月の端午の節句には、古民家に五月人形をいくつか飾り、庭いっぱいになるほどの鯉のぼりを揚げます。人形は桃太郎、金太郎、牛若丸など、どれも心優しい英雄たち。男の子が丈夫に育ち、やがては立派な人間になるように、との両親や祖父母の願いを背負って立っています。

最近、子どもにかかわるいまわしい事件が続出しています。桃太郎や金太郎では時代遅れと思われるかもしれませんが、古民家では子どもたちの健全な成長を願って、飾り続けたいと思っています。

子どもたちの成長を祈る鯉のぼり

古民家前の池には水鳥の姿が

こころのチキンスープ●ライオンズ編

戦場に眠る兵士の霊よ やすかれと

構成／青山研

安らかな死者もあり、そうでない死者もある
——ペレス・ガルドス——

フィリピンは、約七千百の島々からなる。主な島だけでも十一島。そのフィリピンは先の大戦で凄惨な戦場と化した。戦争末期、劣勢を巻き返そうと図った日本軍は、レイテ、ルソンを主戦場に必死の反攻に出た。援軍もなければ補給もない。兵士たちは、自戦自活して永久に抵抗を継続せよ、と命令された。死ぬまで戦えと、永久抗戦を命令されたのである。数え切れぬ死があった。ある戦史は語る。

「待ち構えていたように、敵の銃砲撃があびせられた。それはほとんど目もあけられないぐらいのすさまじさだった。炸裂する砲弾はつぎつぎと数人を空中高く四散させた。戦死者の死体がみるまに山をなしてゆく。もはや、わが軍にとってなすべき方法はない。（略）全員が喚声をあげて敵陣めがけて突っ込んだ。（略）しばらく続いた喚声はやがて耳をろうするばかりの敵の砲声に圧倒されて途切れてしまった。土煙の中に消えていった勇士たちの姿は再び視界のなかに帰ってこなかった」

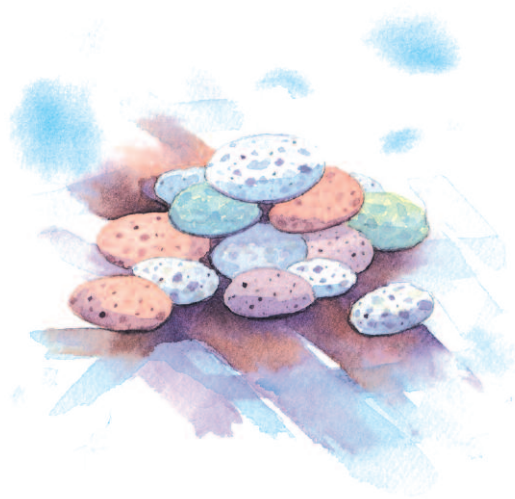
その日、祖国の勝利を信じて、父が、兄が、痛恨の思いで敵弾に散っていった。生き残った者には飢餓と疫病が襲った。地獄だった。数え切れぬ地獄が現れ、悲惨な死があった。

歳月が流れる。

一九九四年春、フィリピン中部パナイ島のパンダンの町で、NPOのアジア協会アジア友の会によって水道施設建設が始まった。きっかけは、岐阜県・揖斐川ライオンズクラブのライオン林豊が、この地の若者を研修生として受け入れ、現地の悩みを聞いたことだった。パンダンの人々は、生活水を井戸に頼っていたが塩分が濃く、健康被害が出ていた。不衛生で下痢から命を落とす子もいた。

揖斐川ライオンズクラブの呼び掛けで、334－B地区第1リジョン第4ゾーンの四クラブが支援を決め、アジア協会アジア友の会が建設を指揮した。工事は、十キロ先の泉を水源地として、そこから水道管を引く足かけ五年の大工事になった。

完成式典は町のホールで行われた。二千人の町

イラスト／吉田悦子

民が集まり、朝八時から昼まで、祝いの宴が盛り上がった。式典の終わり近く、通水式が行われた。清冽な水が水道管からあふれ出た。人々は水の回りにワッと群がり、たいへんな騒ぎになった。

その喜びの喧騒の中でゾーン・チェアパーソンだったライオン宇野實は、思いもよらぬ知らせを聞く。町民ホールの土台の真下には、日本兵三十三人の遺体が埋められ、コンクリートで覆われているのだという。兵士が蘇って報復などせぬように願ってそうしたのだという。

なんということだろう。

調べたら、その地下に眠る兵士たちは、名古屋に師団司令部を置いていた陸軍第三師団の独立砲兵三十三部隊の兵士たちだというではないか。岐阜を故郷とする兵士たちだったのだ。幾度、故郷の空を夢見たことだろう。どんなにか故郷の妻子を思い、母を、父を、兄弟を思い続けたことだろう。無念の思いを抱いて、戦場に散った兵士たちを思い、ライオン宇野はいたたまれなかった。遺骨を持ち帰って供養してあげたかった。

「そうだ、その方々が、『俺たちはここにいる、ここの人たちを助けてやってくれ。俺たちには何の恨みもないのだから』と、この水道工事をやらせてくれたのかもしれない」

ライオン宇野は、地下の兵士たちの声なき声を聞いたように思った。遺骨を持ち帰れないのであれば、何か慰霊の思いを捧げることは出来ないか。

その思いを察したのか、パンダンの町では翌年、町民ホールの左隣の広場に日本軍の慰霊碑を建立する。水道事業完成の返礼だった。ホールの右隣にはフィリピン軍属民慰霊碑が建てられた。日本軍の慰霊碑には「元日本軍無名戦士之墓」と刻まれ、碑の裏には、日本には悪い印象を持っていたが、水道事業によって、良い印象に変わった、という内容の記述があった。

兵士たちは、死後もなお誤解を解くことを願っていたのかもしれない。ライオン宇野は兵士たちの供養のためにも、故郷の香りを届けたいと願った。何が良いか。故郷の香り。そうだ、故郷の川の思い出を贈ろう。幼い日に遊んだ川の思い出を。きっと喜んでもらえると思った。長良川、木曾川、揖斐川の三つの川の川原から小石が集められ、NPOに託された。

悪夢の戦いの日を超えて、日本とフィリピンの人々は親善の思いを形にした。小石は、それを実現させてくれた兵士たちへの故郷からの贈り物だった。

MY BEST SHOT

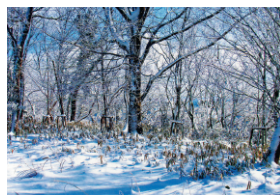
選：河相正名（日本写真家協会会員）

山田隆
群馬県境
［朝光］

●選評

天地創造を思わせるダイナミックな瞬間を見事にとらえた。湖面の赤、太陽に近い部分の黄色、朝霧の赤、その上に夜明け間近い紺から黒へのグラデーションなど、大自然の色の競演となっている。露出をややアンダー気味にして光を巧みに演出し、山並みを黒いシルエットにしたのも成功している。

安藤正一　愛知県豊田
［花餅買って!!］

菊野善之助　愛媛県松山
［春の息吹］

重藤一美　広島県甲山
［春近し］

上野春夫　広島県三原
［とんど焼き］

木村文丸　青森県弘前［冬景色］
山田武夫　愛知県名古屋樟
［「水害魔除祈願」と女将さん］
畔柳東一　愛知県岡崎竜城［春間近］
梅田尊　愛知県豊田［真剣です］
岩佐清　岐阜県高山［輝く氷湖］
露木義光　静岡県沼津［冬の江ノ島］
行田武彦　大阪府茨木［伊勢神楽］
稲田靖次　島根県松江葵［落陽の地平線］

全作品は国際協会公式ウェブサイトでご覧頂けます。　http://www.lionsclubs.org/JA/TheLion/MBS/index.html

LIONS GALLERY

［春を待つふるさと］油彩80号

確か昭和四十九年のこと、示現会展に出品し初入選致しました。その後描く苦しみと楽しさを味わいながら連続入選させて頂きました。
これからも個性を定着させ、自分らしさを大切に、見る人に親しみ深い感動ある作品を心掛けます。そして完成度を高め、絵は心の表現であることを忘れずに描き続けたいと思います。

安孫子浩
山形千歳ライオンズクラブ
画家

山形は四季の変化に富み、春は花の風景から冬は雪景色まで、いつでも美しい画題が豊富にあります。絵の好きな方は、いつでも山形に写生においでください。ご案内申し上げます。

（あびこ　ひさし・66歳）

読者プレゼント

■ゼリー詰め合わせを二十人の読者に

「ふるさと探訪」（36ページ）に登場した山口県・大島ライオンズクラブから、JA山口大島の三種類のミカン・ゼリーの詰め合わせが二十人の読者にプレゼントされます。

瀬戸内海に浮かび温暖な気候に恵まれた大島で採れるミカンは「大島みかん」として名高いブランド品。これを原料にした、ほど良い甘さのみかんゼリー、酸味がさわやかな甘夏ゼリー、苦みがアクセントの伊予柑ゼリーをセットにしました。潮風と太陽に育まれたふるさとの味をお楽しみください。

EDITOR'S ROOM

■「魅惑の十七～十九世紀フランス絵画展」を十人の読者に

四月二十三日から七月十五日まで東京・新宿の損保ジャパン東郷青児美術館で開催される「魅惑の十七～十九世紀フランス絵画展」のチケット（二枚一組）が十人の読者にプレゼントされます。

古くから政治・文化の中心地として栄えた南フランスの町、モンペリエにあるファーブル美術館の所蔵品が初めて日本に紹介されます。モンペリエ出身の画家に加え、ドラクロワ、ミレー、マティスらフランス絵画史上外すことの出来ない画家たちの作品九十点。古典、ロココから新古典主義、ロマン主義を経て印象主義というフランス十七～十九世紀の絵画の流れを堪能して頂けます。

クールベ「出会い、こんにちはクールベさん」1854年 ©Musee Fabre,Montpellier Agglomeration – cliche Frederic Jaulmes

■「アール・デコ展」チケットを十人の読者に

四月十六日から六月二十六日まで東京・上野の東京都美術館で開催される「アール・デコ展」のチケット（二枚一組）が十人の読者にプレゼントされます。陶器、彫刻、ファッション、絵画、建築ほかあらゆる素材・媒体によるアール・デコ様式の名作約二百点を包括的に展示。第一次世界大戦直前から一九三〇年代後半までの様式の発展を辿りつつ、ヨーロッパの贅沢な工芸の中から生まれた様式がいかにして近代社会に浸透していったかを探ります。

タマラ・ド・レンピッカ「電話Ⅱ」1930年油彩／板ヴォルフガング・ヨープ・コレクション©ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 2005

プレゼント応募要項

はがきに住所、氏名、電話番号、クラブ名と「ゼリー」「アール・デコ展」「フランス絵画展」とご希望の品を明記し、下記のあて先へ。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は4月末日。応募多数の場合は抽選となります。当選のお知らせはプレゼントの発送をもって代えさせて頂きます。

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045
東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
ウェブサイトからの応募
URL: www.lionsclubs.org/JA/content/thelion_present_form.html

次号予告

THEME
LCIF：発展途上国支援

日本のライオンズクラブによるLCIF交付金事業の多くは、発展途上国への支援である。途上国での活動は、概して事業費に比し大きな成果が得られる上、教育や福祉などの分野で本当に助けを必要とする人々に援助が届き、支援された側、する側双方とも喜びは非常に大きい。カンボジアとベトナムで支援事業を行った当事者三人による座談会で、その成果と感動体験を聞く。

ROAR・ローア
――まるごと337複合地区

六月号は337複合地区特集。「ヘッドライン」は福岡玄海ライオンズクラブが結成以来十七年間継続しているスリランカ支援事業。「メーク・アップ」では長崎東ライオンズクラブと鹿児島県・名瀬ライオンズクラブの例会を紹介。「ふるさと探訪」は宮崎県・清武町。宮崎市に隣接し、近年はベッドタウンとして発展著しいが、温暖な気候を生かした農業も盛ん。宮崎を代表する果物、日向夏の主な産地である。爽やかな芳香と酸味を持つ日向夏は二月から四月にかけて露地物が出荷され、一足早く初夏の香りを運んでくれる。収穫時期を迎えた清武町を探訪。「祭りのある風景」は沖縄県糸満のハーリー。豊漁と航海の安全を祈り、装飾を施した手漕ぎ船に十数人が乗り込み競漕する。

Official publication of Lions Clubs International.

Published by authority of the Board of Directors in 22 languages - English, Spanish, Japanese, French, Swedish, Italian, German, Finnish, Flemish-French, Korean, Portuguese, Dutch, Danish, Chinese, Norwegian, Icelandic, Turkish, Greek, Hindi, Polish, Indnesian and Thai.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
TEL.(03)3542-9571(代)　FAX.(03)3546-2630
E-mail. edit@thelion.jp

編集室

女性会員の参加

ライオン誌
日本語版委員
◉
中田勝昭

日本に初めてライオンズの誕生を見て五十年以上が過ぎた。日本ライオンズの創成期は、社会福祉とライオンズ発展を願う先人たちの努力で会員増強が図られ、アメリカに次ぐ世界第二位のライオンズ国となり、一九九二年には十七万余人の会員数を記録した。しかしこれを境に会員の減少が始まり、現在では十三万人を下回り、世界二位の座をインドに譲った。

会員の減少はただ経済的な問題だけでなく、多くの要因が考えられる。この状況を打破するために、二〇〇二年大阪国際大会でケイ・フクシマ国際会長はエクステンションを唱えられた。しかし実際は、日本ライオンズの既存男性クラブは飽和状態。テリトリーの競合する地域もたくさんあり、会員の獲得合戦も見られるほどで、従来型クラブのエクステンションは到底無理かとだれもが思った。

が、八七年の台北国際大会で女性のライオンズクラブ参加が承認された。翌八八年には日本で初めての女性クラブ、東京櫻ライオンズクラブが誕生し、以後徐々に各地で女性クラブが結成、また既存クラブにも女性会員が入会し始めた。当時は女性会員の入会を頑固に拒むクラブも少なくなかった。私の所属する335・B地区も同様であったが、九八年度、当時の山崎勝己ガバナーが初めて女性会員を受け入れ、一年に九つの女性クラブを結成した。以後、今日まで地区内に十八の女性及び男女混合の新クラブが誕生している。

今や女性のライオンズでの活躍は素晴らしいもので、既に地区役員も輩出され、昨年度はリジョン及びゾーン・チェアマンという名称がチェアパーソンに変更された。世界では、既に多くの女性ガバナーが活躍し、女性国際理事も就任されている。

今年度、日本でも初の女性ガバナー、櫻井慧子330・C地区ガバナーが誕生。地区運営に、また女性の立場に立った女性会員増強にと活躍されている。

日本ライオンズの女性会員数は約七千人、世界水準の一三パーセントに対し日本では約五・六パーセントとまだまだ低いが、近い将来にはこの数字に追いつけるだろう。ライオンズ活性化のためにも、常識あるスポンサーにより、女性ならではのきめ細やかな配慮と感性で地域社会に奉仕する、多くの女性会員及び女性クラブが生まれることを期待する。